資料－８

平成26年度　第３回
北陸地方整備局
事業評価監視委員会

道路事業の再評価説明資料

〔国道８号 柏崎バイパス〕

平成２６年１１月

北陸地方整備局

目　次

１．事業の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　１
　１）事業の目的　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　１
　２）事業の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　２
２．現在に至る経緯等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　３
　１）事業の経緯　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　３
　２）事業の進捗状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　３
　３）今後の事業展開　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　３
３．事業費の見直し　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　４
４．当該道路の役割・効果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　５
　　１）３便益に係る整備効果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　７
　　①走行時間の短縮　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　７
　　②交通事故件数の減少　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　８
　　２）その他の効果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　９
　　①災害時における交通の確保　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　９
　　②冬期間のスムーズな交通の確保　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ１１
　　③主要な観光地へのアクセス向上　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ１２
５．費用対効果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ１３
６．対応方針（原案）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ１４

客観的評価指標抽出資料　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ１５
費用対効果算出資料　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ１９

1．事業の概要

1）事業の目的

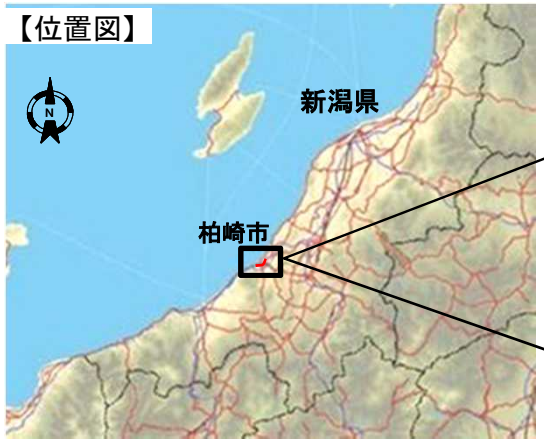
当事業は、

○ 柏崎市街地の交通混雑を解消し円滑な交通を確保

○ 広域幹線道路ネットワークの強化　など

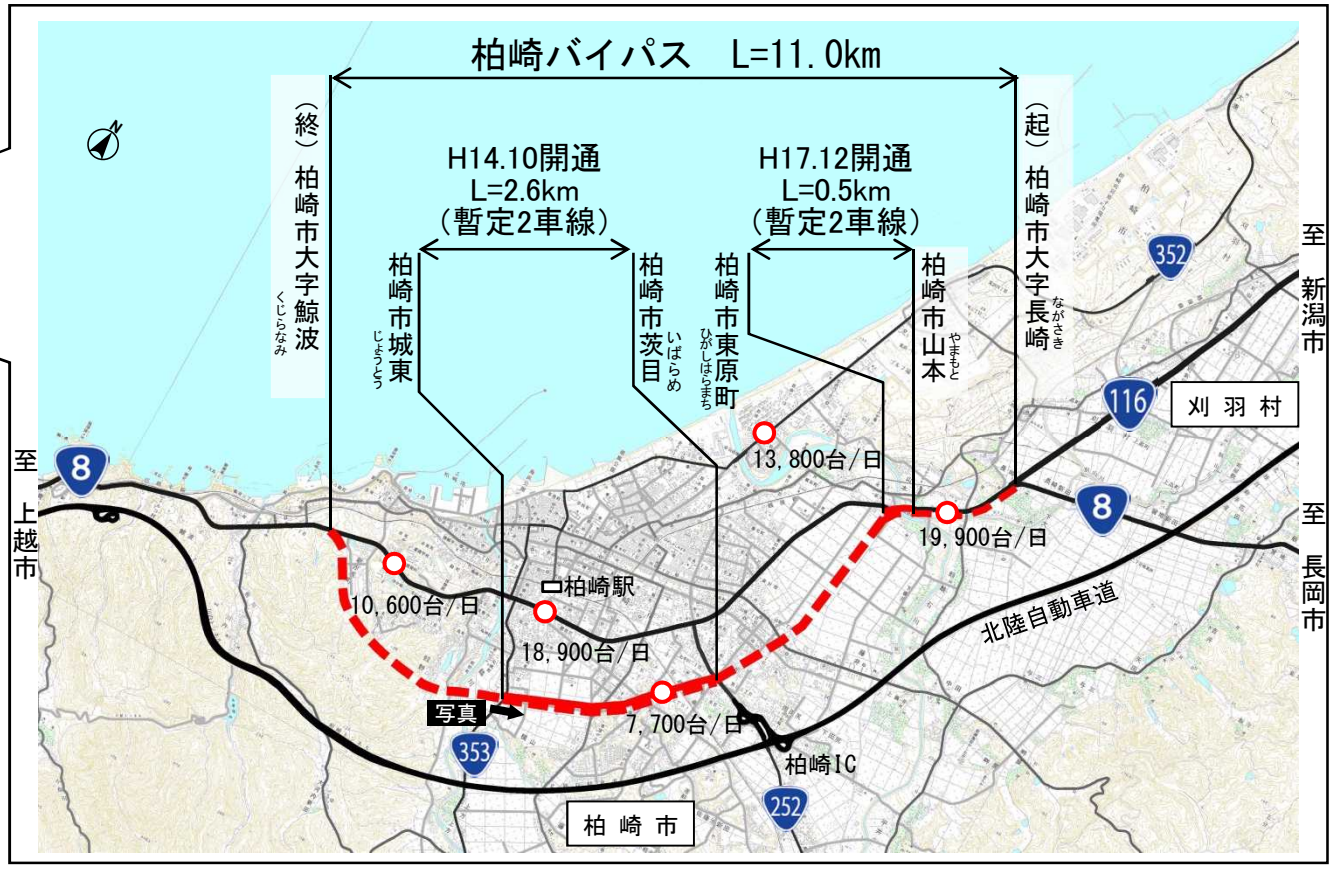
を目的とし、国道８号の新潟県柏崎市大字長崎から柏崎市大字鯨波の延長11.0kmについてバイパス整備を行うものである。

【位置図】



【現況写真】

開通済の柏崎バイパス
（R353から起点方向を望む）



※交通量：平成22年度道路交通センサス

１．事業の概要

２）事業の概要

〇事　業　名：国道8号柏崎（かしわざき）バイパス

〇起　終　点：(起)新潟県柏崎市（かしわざきし）大字長崎（おおあざ　ながさき）

(終)新潟県柏崎市（かしわざきし）大字鯨波（おおあざ　くじらなみ）

〇延　　長　　：11.0km

〇事　業　化：昭和62年度

〇都市計画決定　：平成元年度

〇用地着手：平成 3年度

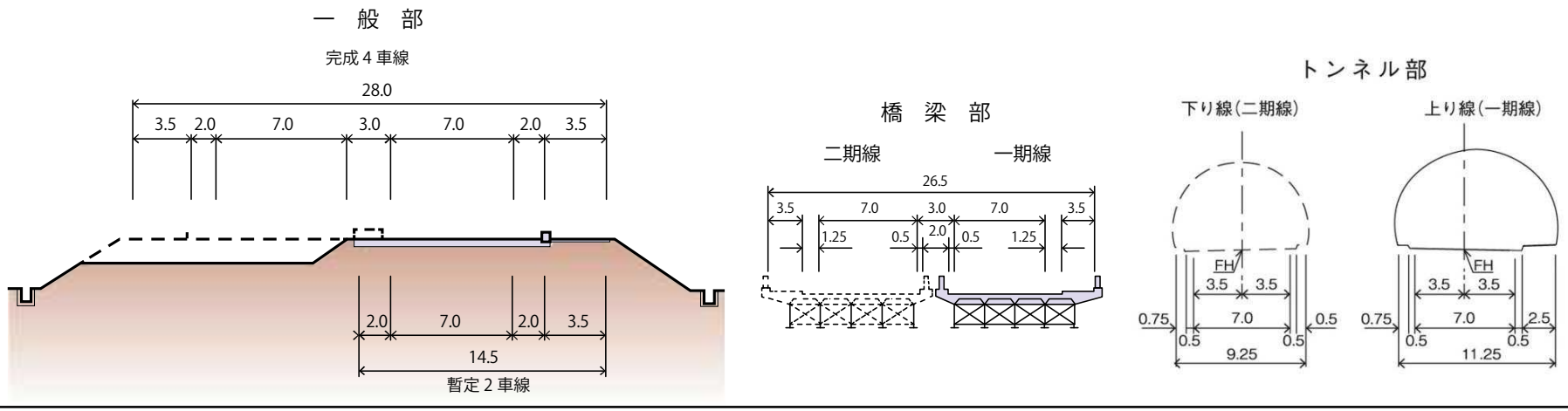
〇工事着手　　：平成 5年度

〇全体事業費：790億円

〇平成26年度までの投資額（予定）：516億円（進捗率約65%）

【横断図】

単位：m



２．現在に至る経緯等

１）事業の経緯

年　　度	主な経緯	年　　度	主な経緯
昭和62年度	事業化	平成14年度	柏崎市茨目～同市城東（L=2.6km）　暫定２車線開通
平成元年度	都市計画決定	平成17年度	柏崎市山本～同市東原町（新豊田橋L=0.5km）　暫定２車線開通
平成 3年度	用地着手	平成14、19、23年度	事業再評価（指摘事項なし、継続）
平成 5年度	工事着手		

２）事業の進捗状況（事業費見直し前）

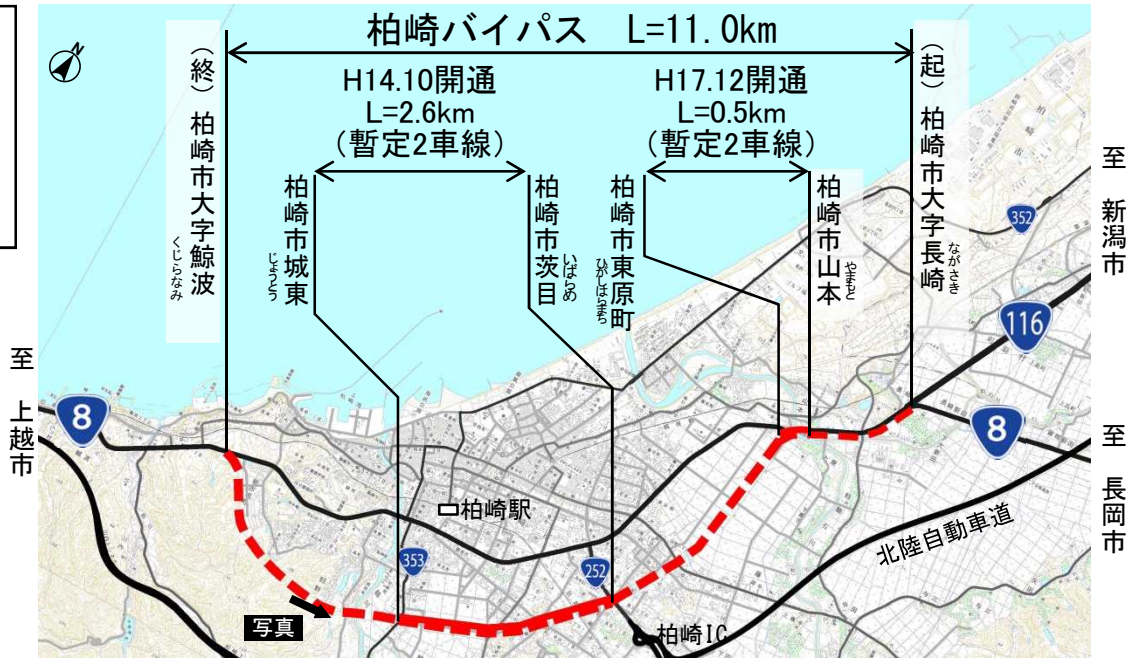
平成26年度末（予定）

	全体	執行済額	進捗率	残事業費
事業費	790億円	516億円	65%	274億円
うち用地費・補償費	276億円	255億円	92%	22億円

※金額は税込み

３）今後の事業展開

○ 城東～鯨波間（L=3.65km）、及び東原町～茨目間（L=2.95km）の暫定2車線開通に向けて事業を推進する。
○ 残る事業についても早期開通に向けて推進する。



3．事業費の見直し

［コスト増額内容：＋36．0億円］

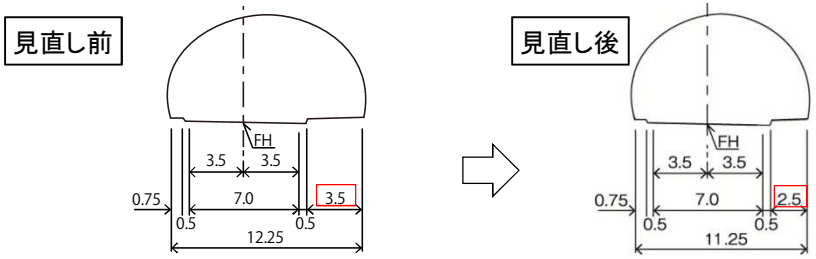
①埋蔵文化財調査の増加 【＋37．8億円】
〇事業実施に伴う試掘調査の結果、新たに調査が必要な宝田（たからだ）・山崎（やまざき）・丘江（おかえ）の3遺跡が確認された。
〇新たな遺跡では3層にわたる調査が必要なものがあるなど、延べ約21万m2もの大規模な遺跡調査が必要となることから、埋蔵文化財調査費用が増額となる。

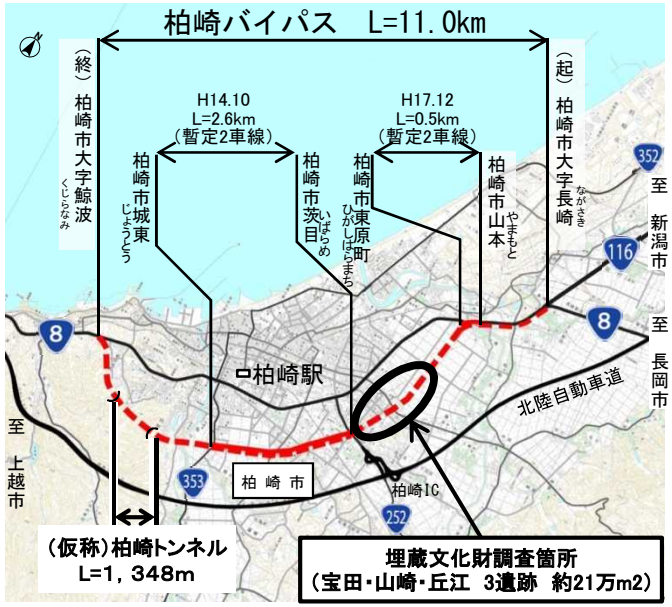
柏崎バイパス山崎遺跡の発掘調査状況（H26.9）

②（仮称）柏崎トンネルの掘削工法の変更によるコスト縮減【 ▲ 1．8億円】
〇詳細な地質調査の結果、地山が柔らかい地質であることが判明したため、掘削機械を安価な掘削工法に変更し、トンネル掘削費用の縮減を図る。

③（仮称）柏崎トンネルの補助工法の増加 【＋3．0億円】
〇詳細設計の結果、トンネル掘削の補助工法の対策延長が増えたことによりトンネル掘削費が増額となる。

④（仮称）柏崎トンネルの歩道幅員の見直しによるコスト縮減【▲ 3．0億円】
〇トンネルの歩道幅員については、当該区間の歩行者の交通状況を考慮し、3．5mから2．5mに見直すことによりコスト縮減を図る。





平成26年度末（予定）

〇見直し後の事業費

	全体	執行済額	進捗率	残事業費
事業費	826億円	516億円	62%	310億円
うち用地費・補償費	276億円	255億円	92%	22億円

※金額は税込み

４．当該道路の役割・効果

〈３便益に係る整備効果〉

① 走行時間の短縮（P7）

○ 柏崎バイパスの整備により、現道の円滑な走行環境が確保され、約９分の走行時間が短縮するとともに、約４７万人時間／年の損失時間削減が期待される。

○ 柏崎バイパスの整備により、走行時間の短縮による便益が年間66億円発生する。

○ 開通後50年間の総便益は、割引率4%などを考慮すると938億円と算出される。

【走行時間短縮便益】

＝整備前総走行時間費用－整備後総走行時間費用　　※便益算定上の開通年次（H38年度）の便益

＝66（億円/年）※

総走行時間費用＝Σ Σ[路線別車種別交通量（台/日）×路線別走行時間（分）
×車種別時間価値原単位（円/台・分）]×365（日/年）

割引率等を考慮

938億円
（残事業では
797億円）

② 走行経費の減少

○ 柏崎バイパスの整備により、走行経費減少として年間9億円の便益が発生する。

○ 開通後50年間の総便益は、割引率4%などを考慮すると137億円と算出される。

【走行経費減少便益】

＝整備前総走行経費－整備後総走行経費　　※便益算定上の開通年次（H38年度）の便益

＝9（億円/年）※

総走行経費＝Σ Σ[路線別車種別交通量（台/日）×路線別延長（km）
×車種別走行経費原単位（円/台・km）]×365（日/年）

割引率等を考慮

137億円
（残事業では
115億円）

③ 交通事故の減少（P8）

○ 柏崎バイパスの整備により安全な走行環境が確保され、現道区間では年間29件の交通事故削減が期待される。

○ 柏崎バイパスの整備による事故件数減少により、年間2.6億円の便益が発生する。

○ 開通後50年間の総便益は、割引率4%などを考慮すると38億円と算出される。

【交通事故減少便益】　　※便益算定上の開通年次（H38年度）の便益

＝整備前の交通事故による社会的損失－整備後の交通事故による社会的損失

＝2.6（億円/年）※

交通事故による社会的損失＝

Σ Σ〔路線別平均事故件数（件／年）×人身事故1件当たり損失額（円／件）〕

割引率等を考慮

38億円
（残事業では
34億円）

４．当該道路の役割・効果

〈その他の効果〉

①災害時における交通の確保

～リダンダンシーの確保～（P9）

○ 豪雪、豪雨、事故等による北陸自動車道通行止め時は、柏崎バイパスが市街地を通過しない代替路として機能する。

○ 柏崎市中心部を流れる「鵜川（うかわ）」氾濫による国道8号の現道一部区間冠水時の緊急避難路としての役割も期待される。

～中越沖地震からの教訓～（P10）

○ 平成19年中越沖地震では柏崎バイパスの開通区間が代替機能を発揮したが、未開通区間では片側交互通行や隘路への迂回を強いられた。

○ 柏崎バイパスの全線開通により、災害時の交通問題の緩和に大きな役割を果たすことが期待される。

②冬期間のスムーズな交通の確保（P11）

○ 国道8号の現道区間には急勾配区間があり、登坂不能車が多数発生。
また、降積雪による北陸道通行止時は、国道8号の現道区間で大渋滞が発生している。

○ 柏崎バイパスの整備により、積雪期の円滑な通行確保が期待される。

③主要な観光地へのアクセス向上（P12）

○ 柏崎の観光客は夏期の海水浴が多く、毎年海水浴期には、柏崎ICを利用した海水浴客の増加により国道8号の現道区間では渋滞が発生。

○ 柏崎バイパスの整備により、海水浴場や海岸線沿いに集中する観光施設等へのアクセス性が向上する。

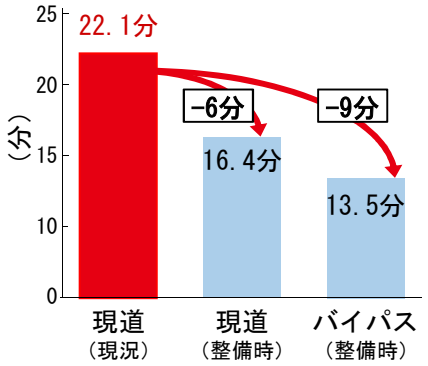
4．当該道路の役割・効果

①走行時間の短縮

○ 国道8号の現道区間は市街化しており、信号交差点も連続しているため、慢性的な交通渋滞が発生している。
○ 柏崎バイパスの整備により、現道の円滑な走行環境が確保され、約9分の走行時間が短縮するとともに、約47万人時間／年の損失時間削減が期待される。

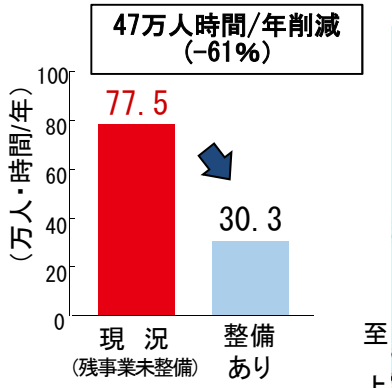
国道8号の混雑状況（柳橋町交差点付近）

【現道区間の所要時間の改善】

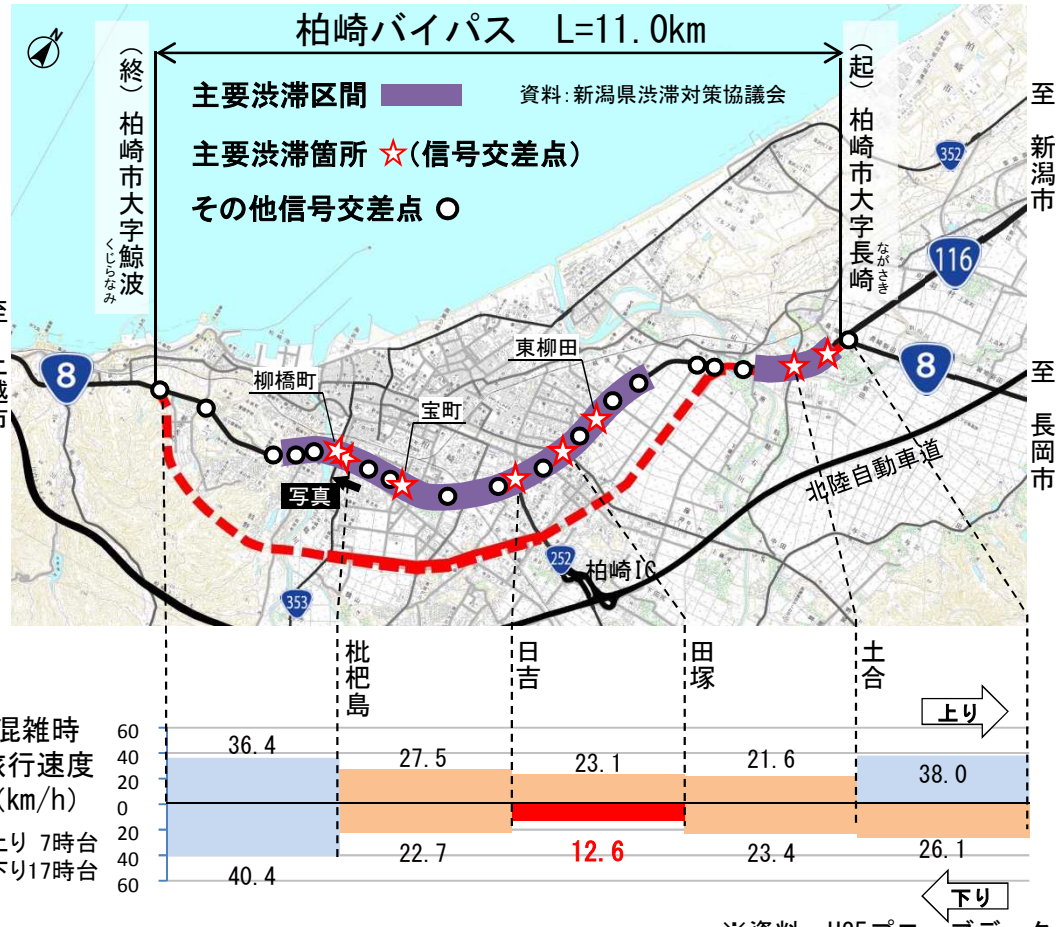


※現　況：H25プローブデータ（混雑時）
整備時：H42将来推計より算定

【現道区間の損失時間の改善】



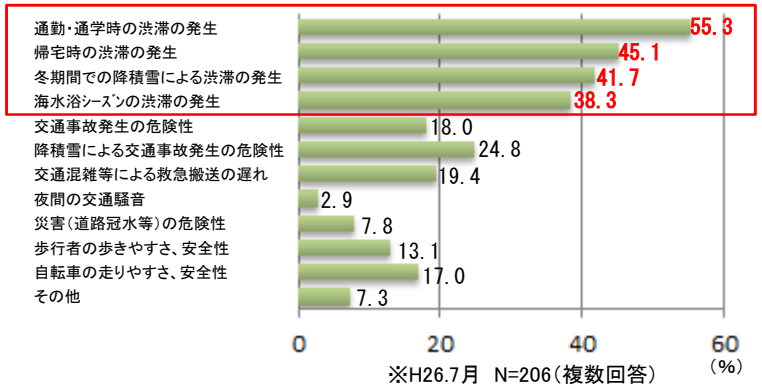
※H42将来推計より算定
現道区間＋バイパス



※資料：H25プローブデータ

柏崎バイパス現道区間の現状の問題点に対する評価
【道路利用者ｱﾝｹｰﾄ】

・渋滞の発生を問題と感じている道路利用者が多い。



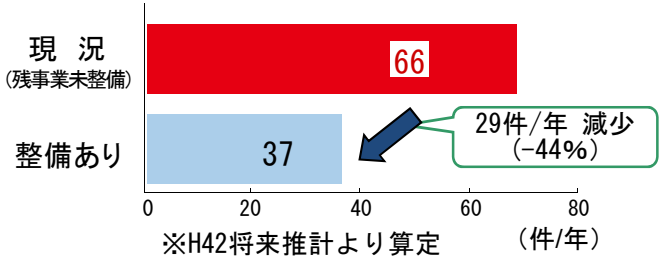
※H26.7月　N=206（複数回答）

4．当該道路の役割・効果

②交通事故件数の減少

○ 国道8号の現道区間は商業施設が連担し交通量も多く、事故危険区間に選定された区間が多数存在している。
○ 交通事故の内訳としては、追突が6割とその多くを占めている。
○ 柏崎バイパスの整備により、通過交通がバイパスへ転換することで、年間29件の事故件数の減少が期待される。

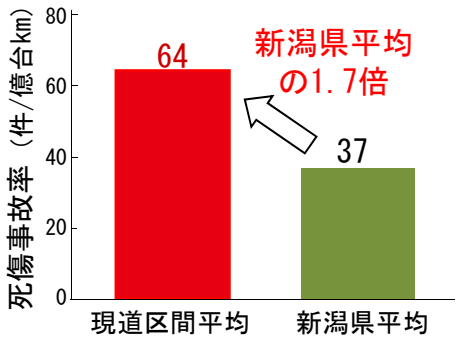
【現道区間の交通事故件数の改善】



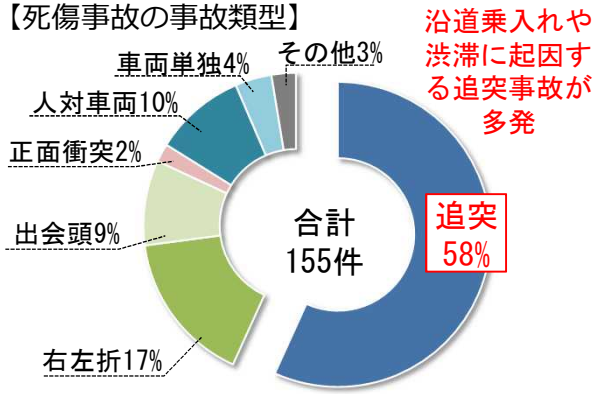
写真①　宝町付近

写真②　土合付近

【現道区間の死傷事故率】



【死傷事故の事故類型】



沿道乗入れや渋滞に起因する追突事故が多発

※出典：H21－H24　ITARDAデータ

４．当該道路の役割・効果

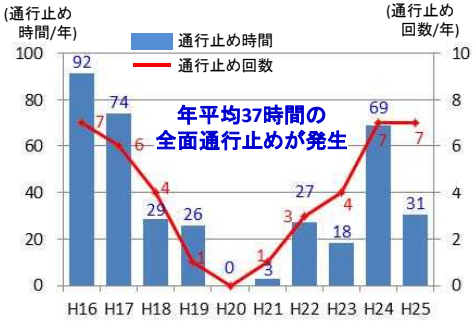
２）その他の効果

①災害時における交通の確保　～リダンダンシーの確保～

- ○ 国道8号は第一次緊急輸送道路として位置付けられている。
- ○ 豪雪、豪雨等により北陸自動車道が通行止めの際は、柏崎バイパスが市街地を通過しない代替路として機能する。
- ○ 柏崎市中心部を流れる「鵜川（うかわ）」が洪水により氾濫すると、国道8号の現道一部区間は冠水する危険性があるが、柏崎バイパスは盛土構造で計画されており、冠水時の避難路及び復旧活動を支援する道路としての役割も期待される。
- ○ 柏崎バイパスの整備により緊急時の代替路が形成されることでリダンダンシーが確保され、当該地域のネットワーク機能が強化される。

【北陸自動車道（米山～西山IC間）通行止め状況】

『通行止め時間・回数』



資料提供：東日本高速道路(株)
H16～H25

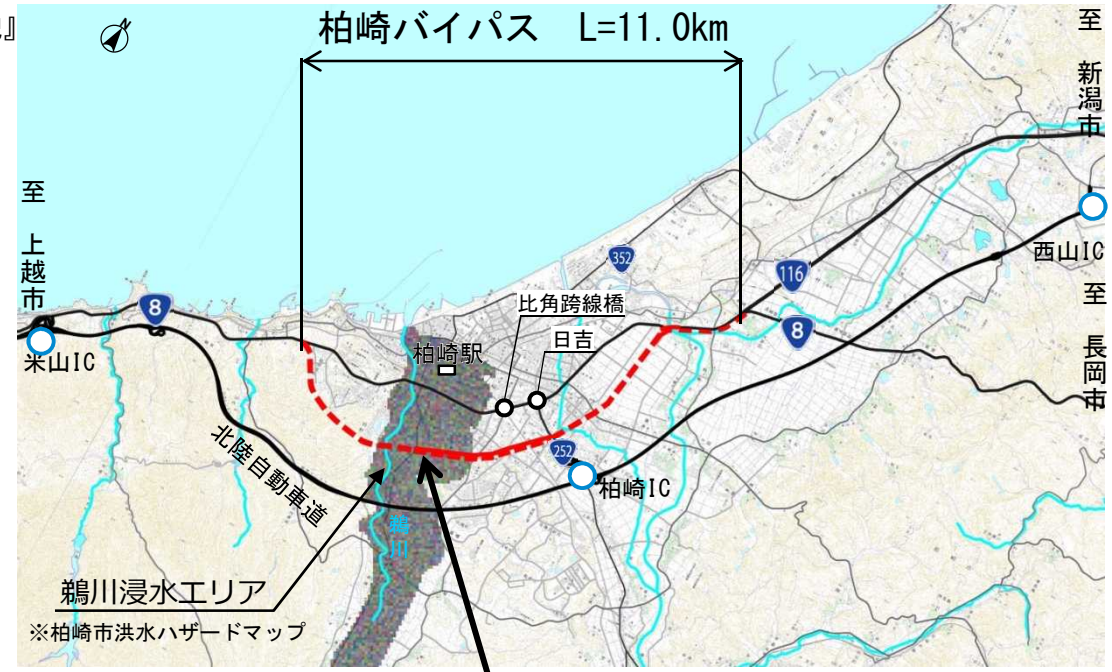
『高速道路通行止による渋滞状況』

国道8号日吉町（ひよしまち）地先（H23.7豪雨）

国道8号比角（ひずみ）跨線橋（H24.1冬期事故）

【水害対策（鵜川洪水による浸水被害の様子）】

昭和53年鵜川洪水による柏崎駅周辺の浸水被害（新潟県資料）



・バイパス部は盛土構造で浸水回避
・柏崎バイパスの整備により幹線道路としての信頼性が向上

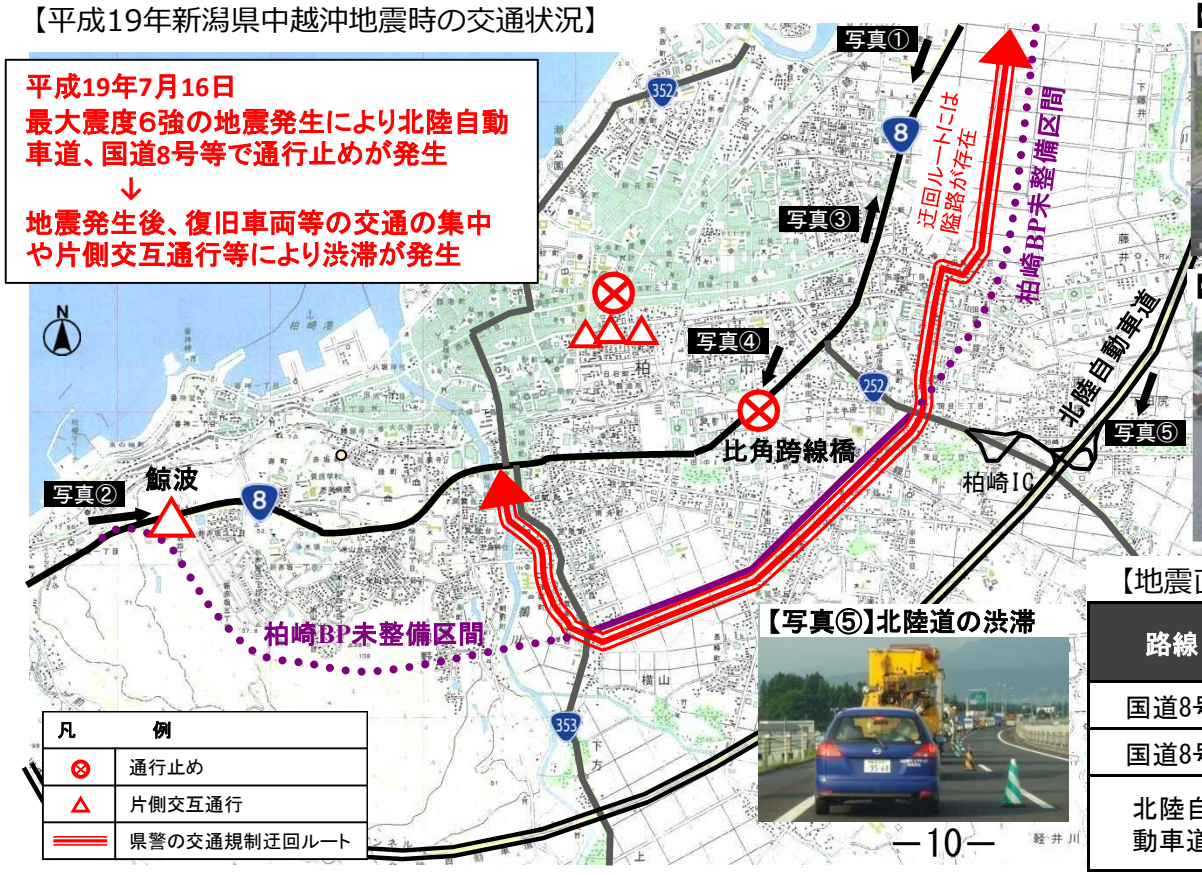
4．当該道路の役割・効果

2）その他の効果

①災害時における交通の確保　～中越沖地震からの教訓～

○ 平成19年新潟県中越沖地震では、柏崎市街地部の道路は甚大な被害を受け、国道8号の現道区間においても2箇所が被災し合計約80時間の通行規制を余儀なくされた。
○ 全面通行止めとなった比角跨線橋の迂回ルートとして、柏崎バイパスの開通区間が代替機能を発揮したが、未開通区間では長期間の片側交互通行や隘路への迂回を強いられた。
○ 災害の際は復旧車両等の交通の集中により、北陸自動車道においても大渋滞が発生するため、柏崎バイパスの全線開通により、災害時の交通問題の緩和に大きな役割を果たすことが期待される。

【平成19年新潟県中越沖地震時の交通状況】



【写真①】交通渋滞

【写真③】家屋倒壊

【写真②】道路崩壊

【写真④】比角跨線橋路面段差

【写真⑤】北陸道の渋滞

【地震直後の交通規制時間】

路線	地先名	全面通行止	片側交互通行
国道8号	比角跨線橋	9.8時間	9.9時間
国道8号	鯨波	－	58.7時間
北陸自動車道	米山～長岡JCT（下り）	27.2時間	－
	長岡JCT～米山（上り）	25.8時間	－

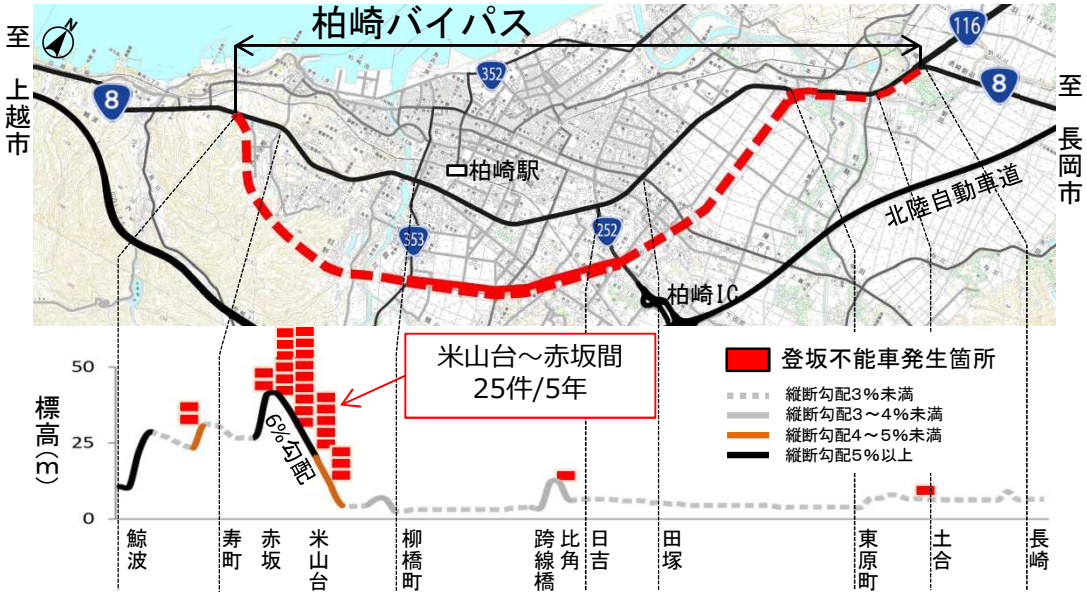
4．当該道路の役割・効果

②冬期間におけるスムーズな交通の確保　～冬期交通障害の回避～

○ 国道8号の柳橋町交差点～鯨波間は急勾配区間（最急勾配6%）があり、スリップ等により登坂不能車が多数発生。
○ また、大雪時には登坂不能車発生の他、北陸自動車道通行止※1により現道に交通が流入し大渋滞が発生している。
○ 柏崎バイパスは、全線で勾配4%以下であり、急勾配が解消されることで、積雪期の円滑な通行確保が期待される。

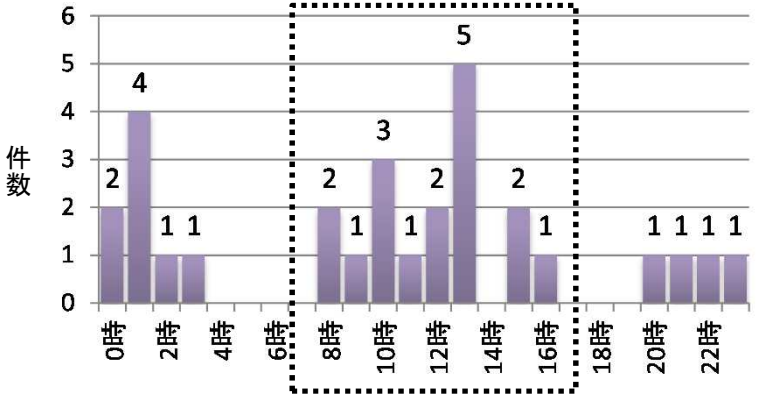
※1　降雪による高速通行止めは、年平均2.2回発生（H21～H25年度）

【現道区間における登坂不能車発生状況（平成21年度～平成25年度）】

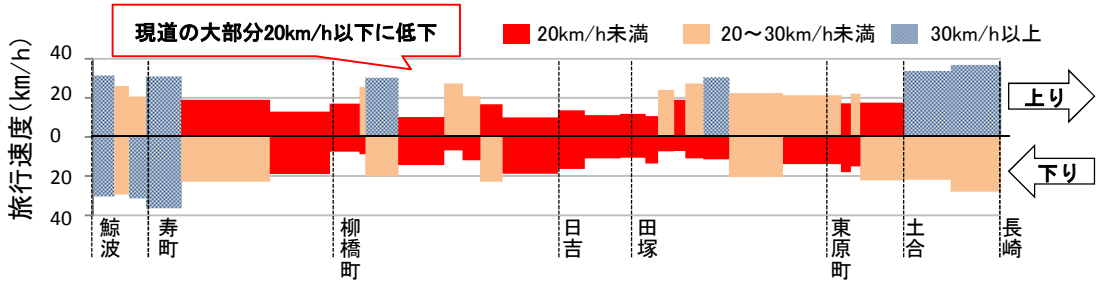


○時間帯別登坂不能車発生件数（現道区間）　※H21～H25年度

日中の登坂不能車発生が多く、交通への影響が大きい



【現道区間における大雪時の旅行速度低下状況（平成26年2月5日）】



※H26.2.5：日降雪量26cm、北陸道 柿崎IC～柏崎IC間上下線通行止 11::30～16:00まで
※旅行速度：H25プローブデータ（昼間12時間平均）

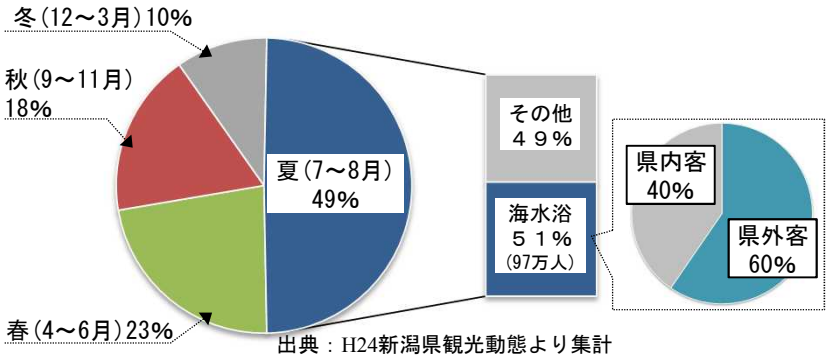
『平成26年2月5日　大雪時の渋滞状況』
※登坂車線設置区間（米山台）

4．当該道路の役割・効果

③主要な観光地へのアクセス向上

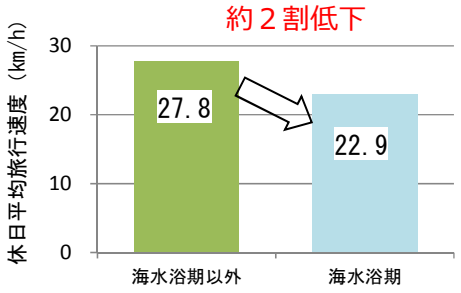
○ 柏崎の観光客の半数は夏期に訪れており、その半数は海水浴を目的としている。（海水浴客の約6割は県外客）
○ 毎年海水浴期には、柏崎ICを利用した海水浴客の増加により国道8号の現道区間では渋滞が発生している。
○ 柏崎バイパスの整備により、海水浴場や海岸線沿いに集中する観光施設等へのアクセス性が向上する。

【柏崎市における季節別観光入込客数】



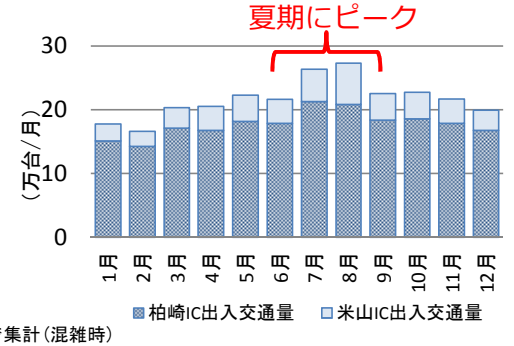
出典：H24新潟県観光動態より集計

【海水浴期の旅行速度(現道区間)】

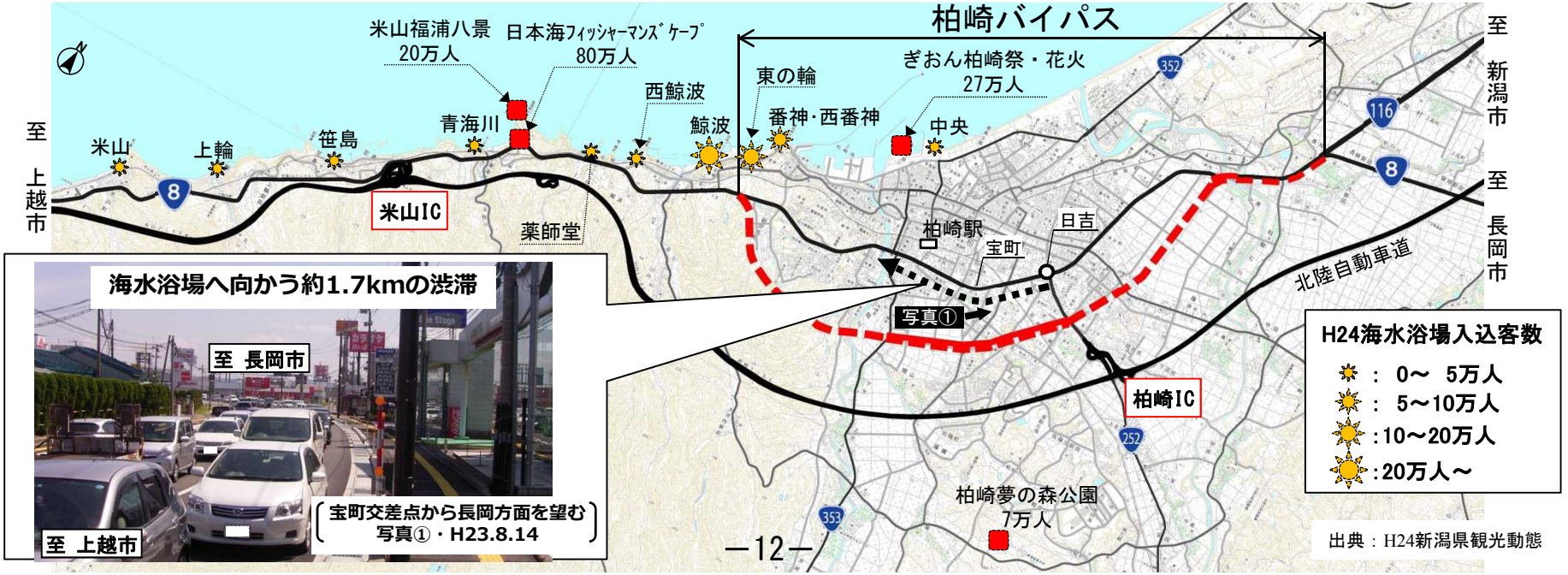


※休日平均旅行速度：
プローブデータ（H25年）より日吉交差点～鯨波間で集計（混雑時）
海水浴期はH25年7月15日～8月18日を対象に集計

【月別高速道路利用台数(H24)】



出典：H25柏崎市統計年鑑



宝町交差点から長岡方面を望む
写真①・H23.8.14

出典：H24新潟県観光動態

５．費用対効果

・事業費:826億円
・基準年における費用及び便益の現在価値
　現在価値算出のための割引率 ： 4%
　基準年次 ： 平成26年度
　検討年数 ： 50年

・将来道路網 :現在の一般県道以上の道路網を基本に、
　平成26年4月時点で事業化済みの計画路線を
　対象にした道路網である。

＜費用＞

基準年における現在価値		事業費	維持管理費
事業全体	996億円	903億円	92億円
残事業	317億円	227億円	90億円

＜３便益＞

基準年における現在価値		走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益
事業全体	1,113億円	938億円	137億円	38億円
残事業	946億円	797億円	115億円	34億円

＜３便益による費用便益比＞

費用便益比Ｂ／Ｃ	
事業全体	1,113億円／996億円＝1.1
残事業	946億円／317億円＝3.0

注1）便益・費用については、基準年における現在価値化後の値である。
注2）費用及び便益額は整数止めとする。
注3）費用及び便益の合計額は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。
注4）便益の算定については、「将来交通需要推計手法の改善について【中間とりまとめ】」に示された第二段階の改善を反映している。

＜その他の効果＞

柏崎バイパスの役割	具体的内容
①災害時における交通の確保	◆地震・水害時の緊急避難路として機能し、緊急輸送道路ﾈｯﾄﾜｰｸとして信頼性向上
②冬期間のスムーズな交通の確保	◆冬期間における円滑な交通の確保が期待されるとともに、安全性・信頼性が向上
③主要な観光地へのアクセス向上	◆主要観光地・施設へのアクセス性向上（柏崎IC～鯨波海水浴場　約３分短縮）

６．対応方針（原案）

①事業の必要性に関する視点

○ 柏崎市内の国道8号の現道区間は、市街地部で慢性的な交通渋滞が発生し、旅行速度が20km/hを下回る区間が存在しているため円滑な走行環境の確保が必要である。
○ また、現道区間は商業施設が連担し、渋滞に起因する事故が多発していることから、安全性の向上が必要とされる。
○ この他、災害時における代替路の確保、冬期交通障害の解消、観光の支援など、その整備効果は多岐にわたっている。
○ 3便益の費用便益比は、事業全体で1．1、残事業で3．0となる。

②事業進捗の見込みの視点

○ 用地買収は約92%、事業は約62%が完了、平成14年度の茨目～城東間、平成17年度の山本～東原町間については暫定2車線で開通している。
○ 残りの事業区間については早期の開通に向け事業を推進する。

③コスト縮減からの視点

○ 施工にあたっては、新技術の活用や建設発生土の有効活用等、更なるコスト縮減に努める。

④対応方針（原案）

対応方針(原案)　　事業継続

(理由)

○ 柏崎バイパスは、新潟市から京都市に至る国道8号のうち、柏崎市大字長崎～同市鯨波間の延長11.0kmを結ぶ道路であり、広域幹線道路ネットワークの一部を構成する重要な役割を担っている。
○ 柏崎バイパスの整備により、柏崎市街地の交通混雑を解消し、円滑な交通を確保するとともに、交通事故削減などの安全性向上に加え、災害時における代替路の確保、冬期間におけるスムーズな交通の確保、観光支援など、多様な効果が見込まれるため事業を継続する。

客観的評価指標抽出資料

【一般国道（二次改築）】

● 事業採択時の前提条件を確認するための指標

前提条件	(1) 事業の効率性	●便益が費用を上回っていること

● 事業の効果や必要性を評価するための指標

大項目	中項目	指　　標
Ⅰ．活力	(1) 円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間（人・時間）及び削減率
		■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する
		■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる
		□ 拠点空港（会社管理空港、国管理空港、特定地方管理空港）、地方管理空港もしくはその他の空港・共用空港へのアクセス向上が見込まれる
	(2) 物流効率化の支援	□ 重要港湾もしくは国際拠点港湾へのアクセス向上が見込まれる
		□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する
	(3) 都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である
		□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり
		□ 中心市街地内で行う事業である
		□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である
		□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する
		□ 対象区域が現在連絡道路がない住宅宅地開発（300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上）への連絡道路となる
	(4) 国土・地域ネットワークの構築	□ 高速自動車国道と並行する自専道（A’路線）としての位置づけ有り
		□ 地域高規格道路の位置づけあり
		□ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する（A’路線としての位置づけがある場合）
		□ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する
		□ 現道等における交通不能区間を解消する
		□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する
		■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる
	(5) 個性ある地域の形成	□ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する
		□ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する
		■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される
		□ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である

大項目	中項目	指　　標
Ⅱ．暮らし	(1) 歩行者・自転車のための生活空間の形成	□自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる。
		□交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される。
	(2) 無電柱化による美しい町並の形成	□対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり。
		□市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)等の幹線道路において新たに無電柱化を達成する。
	(3) 安全で安心できる暮らしの確保	■三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる。
Ⅲ．安全	(1) 安全な生活環境の確保	□現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる。
		□当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される。
	(2) 災害への備え	□近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2カ箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する。
		■対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり。
		□緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する。
		□並行する高速ネットワークの代替路線として機能する。（A’路線として位置づけがある場合）
		□現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要ある老朽橋梁における通行規制等が解消される。
		□現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する。
Ⅳ．環境	(1) 地球環境の保全	●対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量
	(2) 生活環境の改善・保全	●現道等における自動車からのNO2排出削減率
		●現道等における自動車からのSPM排出削減率
		■現道等で騒音レベルが夜間が夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある。
		□その他、環境や景観上の効果が期待される。
Ⅴ．その他	(1) 他のプロジェクトとの関係	□関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり。
		□他機関との連携プログラムに位置づけられている。
	(2) その他	□その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される。

※〇印の指標は定量的な記述により効果を確認する。

□印の指標については定性的又は定量的な記述により効果の有無を確認する。

※●、■は該当する指標を示す。

○再評価実施時点における評価指標該当項目

前提条件
(1) 事業の効率性（Ｂ／Ｃ）
　　Ｂ／Ｃ＝ 1.1（事業全体の費用対効果）
　　Ｂ／Ｃ＝ 3.0（残事業の費用対効果）

Ⅰ．活力
(1) 円滑なモビリティの確保
・現道等、及び費用便益分析範囲における渋滞損失時間の削減。「P7に詳述」
（現道＋バイパス　：整備なし 77.5万人時間／年 → 整備あり 30.3万人時間／年　削減率 61%
費用便益分析範囲：整備なし 1,865万人時間／年
→ 整備あり 1,716万人時間／年　削減率 8%）

・現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度が改善。「P7に詳述」
（現道：現況(H25プローブデータ）田塚～日吉交差点間12.6km/h
→　整備あり【現道区間】　40.0 km/h　27.4 km/h向上
→　整備あり【バイパス】　44.9 km/h　32.3 km/h向上）

・現道に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在。
（長岡駅前～柏崎駅前線　運行本数　16～17本/日）

(4)国土・地域ネットワークの構築
・日常活動圏中心都市へのアクセス向上。
（刈羽村役場～柏崎中心市街地：整備なし　20.6分→整備あり　17.5分　短縮率15%）

(5)個性ある地域の形成
・主要な観光地（海水浴場等）へのアクセス向上。「P12に詳述」
（鯨波海水浴場～柏崎ＩＣ：整備なし15.7分 → 整備あり12.6分　短縮率20%）

Ⅱ．暮らし
(3) 安全で安心できるくらしの確保
・三次医療施設（長岡赤十字病院）への救急搬送を支援。

Ⅲ．安全
(2) 災害への備え「P9～10に詳述」
・現道が「地震防災緊急事業５ヶ年計画」において第一次緊急輸送道路として位置づけあり。
・原子力、地震、水害等の災害時における交通問題の緩和が期待される。

Ⅳ．環境
(1) 地球環境の保全
・自動車からのCO2排出量削減。
（費用便益分析範囲：整備なし 94.6万t-CO2／年 → 整備あり 93.5万t-CO2／年
約1.1万t-CO2／年削減、削減率 1%）
(2) 生活環境の改善・保全
・自動車からのNO2排出量削減。
（現道：整備なし　53.4t-NOx／年 → 整備あり　22.3t-NOx／年
約31.1t-NOx／年削減　削減率　58%）
・自動車からのSPM排出量削減。
（現道：整備なし　3.1t-SPM／年 → 整備あり　1.3t-SPM／年
約1.8t-SPM／年削減、削減率　58%）
・夜間騒音の低減。
現道（田　塚）：整備前 70dB → 整備後 60dB　10dB低減
現道（米山台）：整備前 69dB → 整備後 59dB　10dB低減

費用対効果算出資料

様式－２

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道8号	柏崎バイパス	Ｌ＝11.0Ｋｍ	二次改築	ＢＰ

計画交通量（台/日）	車線数	事業主体
17,100～35,800	4	北陸地方整備局

① 費　用

	事　業　費	維持管理費	合　　計
基 準 年	平成26年度		
単純合計	792億円	191億円	984億円
うち残事業分	289億円	279億円	568億円
基準年における現在価値（Ｃ）	903億円	92億円	996億円
うち残事業分	227億円	90億円	317億円

② 便　益

	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	合　　計
基 準 年	平成26年度			
供 用 年	平成15年度、平成33年度、平成38年度			
単年便益（初年便益）	9.7億円	1.3億円	0.31億円	11億円
基準年における現在価値（Ｂ）	938億円	137億円	38億円	1,113億円
うち残事業分	797億円	115億円	34億円	946億円

③ 結　果

費用便益比（事業全体）	1.1
経済的純現在価値（事業全体）	117億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.5%
費用便益比（残事業）	3.0
経済的純現在価値（残事業）	628億円
経済的内部収益率（残事業）	14.5%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析　（事業全体を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（Ｂ／Ｃ）
交通量	17,100～35,800	±10%	0.95～1.2
事業費	792億円	±10%	1.1～1.1
事業期間	39年	±20%	1.1～1.2

⑤ 感 度 分 析　（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（Ｂ／Ｃ）
交通量	17,100～35,800	±10%	2.6～3.1
事業費	289億円	±10%	2.8～3.2
事業期間	11年	±20%	2.9～3.0

様式－３①

交通状況の変化（全体）

事業名：一般国道８号　柏崎バイパス

（推計時点　　Ｈ４２年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路〔バイパス等〕:9.2km		交通量※1	[台/日]	0	23,700
		走行時間※2	[分]	0	11.2
		走行時間費用※3	[億円/年]	0.00	52.50
②主な周辺道路※4	①現道〔一般国道8号〕:9.5ｋｍ	交通量	[台/日]	15,500	10,400
		走行時間	[分]	18.1	17.2
		走行時間費用	[億円/年]	52.00	31.21
	②(一)黒部柏崎線等:12.8ｋｍ	交通量	[台/日]	4,800	1,500
		走行時間	[分]	35.8	27.9
		走行時間費用	[億円/年]	36.17	8.56
	③一般国道352号等:13.8ｋｍ	交通量	[台/日]	7,300	4,400
		走行時間	[分]	29.1	24.6
		走行時間費用	[億円/年]	40.72	19.62
	④(主)鯨波宮川線:28.2ｋｍ	交通量	[台/日]	2,000	400
		走行時間	[分]	48.9	47.1
		走行時間費用	[億円/年]	19.48	3.26
	⑤(主)柏崎小国線:4.8ｋｍ	交通量	[台/日]	7,200	3,700
		走行時間	[分]	10.6	9.6
		走行時間費用	[億円/年]	15.32	7.91
	⑥(一)荒浜中田線:6.5ｋｍ	交通量	[台/日]	3,300	1,600
		走行時間	[分]	13.3	11.6
		走行時間費用	[億円/年]	8.20	3.41
③その他道路合計:1987.5ｋｍ		走行時間費用	[億円/年]	2,289.81	2,272.56

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A － B)
合計：2072.3km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,461.69	2,399.04	62.65

※１：　当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

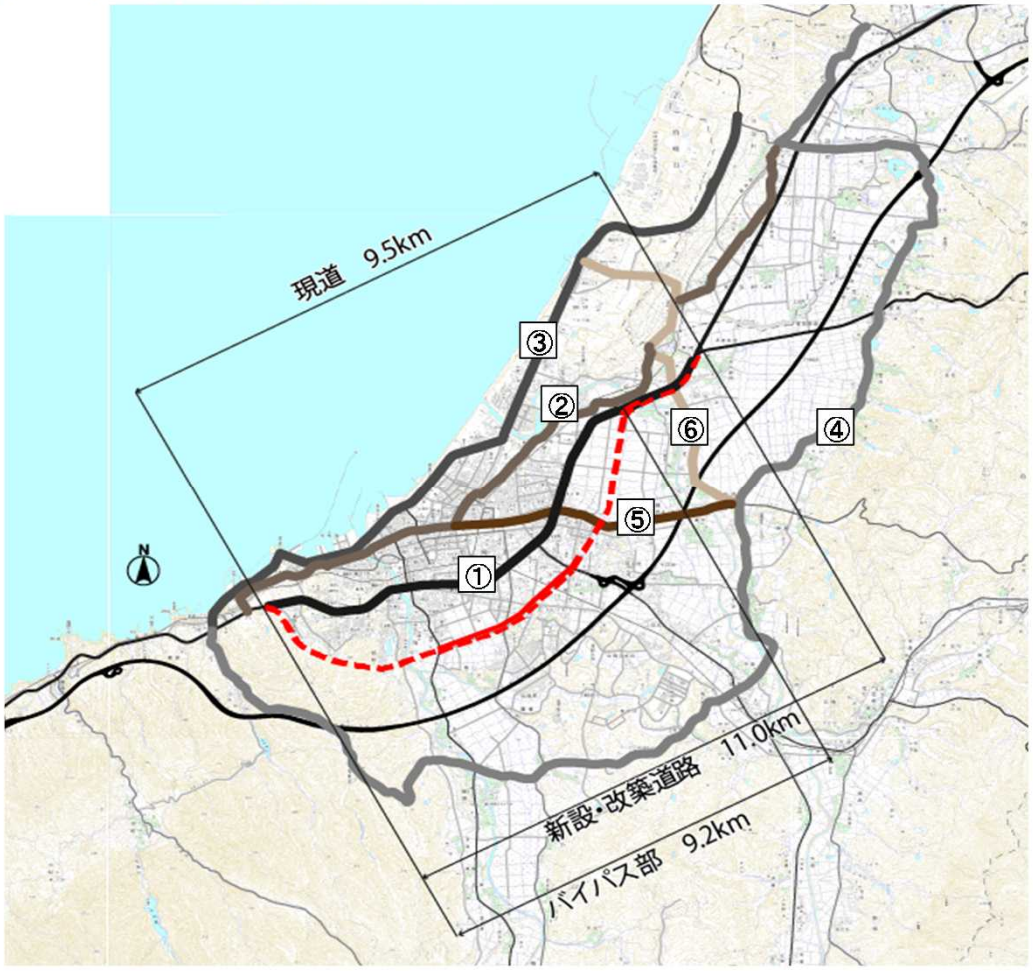
※２：　配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３：　費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４：　当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５：　②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

（２） 図面（①、②に該当する道路を明示すること）



様式－３①

交通状況の変化（残事業）

事業名：一般国道８号　柏崎バイパス

（推計時点　　Ｈ４２年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路〔バイパス等〕:9.2km		交通量※1	[台/日]	6,100	23,700
		走行時間※2	[分]	3.2	11.2
		走行時間費用※3	[億円/年]	3.41	52.50
②主な周辺道路※4	①現道〔一般国道8号〕:9.5ｋｍ	交通量	[台/日]	16,300	10,400
		走行時間	[分]	18.3	17.2
		走行時間費用	[億円/年]	56.35	31.21
	②(一)黒部柏崎線等:12.8ｋｍ	交通量	[台/日]	3,900	1,500
		走行時間	[分]	33.8	27.9
		走行時間費用	[億円/年]	28.61	8.56
	③一般国道352号等:13.8ｋｍ	交通量	[台/日]	7,600	4,400
		走行時間	[分]	29.7	24.6
		走行時間費用	[億円/年]	42.87	19.62
	④(主)鯨波宮川線:28.2ｋｍ	交通量	[台/日]	1,800	400
		走行時間	[分]	48.7	47.1
		走行時間費用	[億円/年]	18.03	3.26
	⑤(主)柏崎小国線:4.8ｋｍ	交通量	[台/日]	7,000	3,700
		走行時間	[分]	10.7	9.6
		走行時間費用	[億円/年]	14.83	7.91
	⑥(一)荒浜中田線:6.5ｋｍ	交通量	[台/日]	3,200	1,600
		走行時間	[分]	13.2	11.6
		走行時間費用	[億円/年]	7.85	3.41
③その他道路合計:1987.5ｋｍ		走行時間費用	[億円/年]	2,282.45	2,272.56

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A － B)
合計：2072.3km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,454.40	2,399.04	55.36

※１：　当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

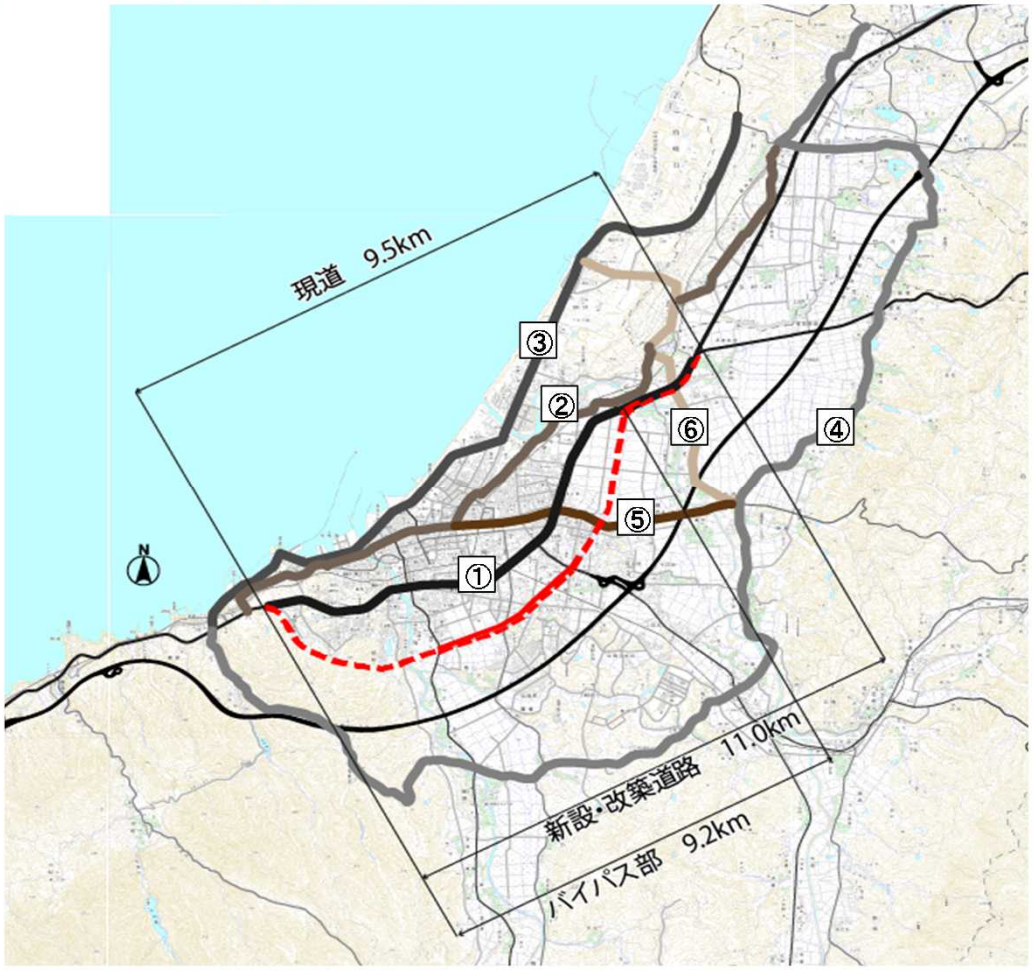
※２：　配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３：　費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４：　当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５：　②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

（２） 図面（①、②に該当する道路を明示すること）



様式－３②

費用便益分析の条件

事業名：柏崎バイパス

（2）

項目				チェック欄
算出マニュアル		費用便益分析マニュアル （平成20年11月　国土交通省　道路局　都市・地域整備局）		■
		その他		□
分析の基本的事項		分析対象期間		50年間
		社会的割引率		4%
		基準年次		平成26年度
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計		□
		複数時点での推計		■（H17・H42）
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計		■
		整備の有無のいずれかのみ推計		□ 有　□ 無
		いずれかのみの推計の場合	いずれかのみの推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 （三段階推定法）		■ （H17センサス）
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 （四段階推定法）		□
		その他（　　）		□
	開発交通量の考慮	無		■
		有		□
		有の場合のみ	考慮した開発交通量（トリップ数）	（　）台ﾄﾘｯﾌﾟ／日
			考慮した理由を記載	
	配分交通量の推計手法	Q－V式を用いた配分		□
		転換率式を用いた配分		□
		Q－V式と転換率式の併用による配分		■
		均衡配分（リンクパフォーマンス関数を用いた配分）		□
		簡易手法		□
		簡易手法の採択理由	小規模事業である	□
			山間部海岸部で併行道路が少ない	□
			その他（　　）	
		簡易手法の考え方（将来交通量の設定方法等）		
		その他（　　）		□
	速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定		□
		採用理由を記載		
		最終配分の速度		□
		採用理由を記載		
		その他（最終配分後の交通量とQ－V条件式との関係から設定。この際、Vminは実態に即した速度で設定。）		■

事業名：柏崎バイパス

（3）

項目				チェック欄
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	面的に考慮	□
			対象路線のみ考慮	□
			採用した休日係数	（　　）％
			休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	（　　）日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
			とり止め交通を考慮する	□
			とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	
	冬期交通の影響	考慮しない		□
		考慮する		■
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数（年あたり）	（97） 日
			採用した冬期日数の考え方を記載 降雪が最初に観測された日から最後に観測された日までの冬期日数（97日）及び降雪日数（48日）を考慮	
			冬期の走行速度と交通容量の関係	
			設定の考え方を記載 通常期と冬期の速度比（降雪時18%低下、降雪時以外10%低下）を考慮	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定		■
		その他 （　　）		□
	車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
		独自に設定した値を使用		□
		算出根拠を添付すること		
	車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
		独自に設定した値を使用		□
		算出根拠を添付すること		
	交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮		□
		中央分離帯の有無を考慮しない		■
	走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない		■
		考慮する		□
		（考慮の場合、算出根拠を添付すること）		
	その他			

事業名：柏崎バイパス

（4）

項目			チェック欄
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	□
		標準投資パターンを採用	□
		その他（概略事業計画による値を採用）	■
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 北陸地方整備局管内直轄路線の実績値から設定	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	■
	その他		
4．その他			

様式－４

費用の現在価値算定表（全体）

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.571	11.0	6.28

箇所名：一般国道8号　柏崎バイパス

年次	年度	割戻率 4.0%	GDP ﾃﾞﾌﾚｰﾀ	事業費(億円) 単純価値	事業費(億円) 現在価値	維持管理費(億円) 単純価値	維持管理費(億円) 現在価値
－16年目	S 62	2.8834	101.0	0.20	0.52		
－15年目	S 63	2.7725	101.5	0.30	0.75		
－14年目	H 1	2.6658	104.2	0.49	1.14		
－13年目	H 2	2.5633	106.5	1.17	2.57		
－12年目	H 3	2.4647	109.1	7.93	16.36		
－11年目	H 4	2.3699	110.6	22.50	44.02		
－10年目	H 5	2.2788	110.9	20.37	38.21		
－9年目	H 6	2.1911	110.8	21.11	38.11		
－8年目	H 7	2.1068	109.9	20.84	36.47		
－7年目	H 8	2.0258	109.5	20.44	34.53		
－6年目	H 9	1.9479	110.4	19.98	32.19		
－5年目	H 10	1.8730	109.9	38.23	59.49		
－4年目	H 11	1.8009	108.4	41.20	62.49		
－3年目	H 12	1.7317	107.2	38.53	56.83		
－2年目	H 13	1.6651	105.7	34.98	50.31		
－1年目	H 14	1.6010	103.8	27.59	38.85		
供用開始年次	H 15	1.5395	102.3	17.31	23.78	0.98	1.35
1年目	H 16	1.4802	101.0	20.33	27.20	0.98	1.31
2年目	H 17	1.4233	99.6	15.26	19.91	0.98	1.28
3年目	H 18	1.3686	98.7	9.29	11.76	0.98	1.24
4年目	H 19	1.3159	97.6	10.17	12.52	0.98	1.21
5年目	H 20	1.2653	96.8	12.00	14.32	0.98	1.17
6年目	H 21	1.2167	95.6	17.58	20.43	0.98	1.14
7年目	H 22	1.1699	93.7	18.85	21.49	0.98	1.12
8年目	H 23	1.1249	92.1	20.90	23.31	0.98	1.09
9年目	H 24	1.0816	91.3	21.64	23.41	0.98	1.06
10年目	H 25	1.0400	91.3	12.24	12.73	0.98	1.02
11年目	H 26	1.0000	91.3	12.22	12.22	0.95	0.95
12年目	H 27	0.9615	91.3	14.73	14.16	0.95	0.91
13年目	H 28	0.9246	91.3	26.85	24.83	0.95	0.88
14年目	H 29	0.8890	91.3	28.70	25.51	0.95	0.84
15年目	H 30	0.8548	91.3	33.43	28.58	0.95	0.81
16年目	H 31	0.8219	91.3	26.52	21.80	0.95	0.78
17年目	H 32	0.7903	91.3	26.15	20.67	0.95	0.75
18年目	H 33	0.7599	91.3	25.41	19.31	3.36	2.55
19年目	H 34	0.7307	91.3	31.48	23.00	3.36	2.46
20年目	H 35	0.7026	91.3	37.59	26.41	3.36	2.36
21年目	H 36	0.6756	91.3	21.30	14.39	3.36	2.27
22年目	H 37	0.6496	91.3	16.67	10.83	3.36	2.18
23年目	H 38	0.6246	91.3			5.82	3.64
24年目	H 39	0.6006	91.3			5.82	3.50
25年目	H 40	0.5775	91.3			5.82	3.36
26年目	H 41	0.5553	91.3			5.82	3.23
27年目	H 42	0.5339	91.3			5.82	3.11
28年目	H 43	0.5134	91.3			5.82	2.99
29年目	H 44	0.4936	91.3			5.82	2.87
30年目	H 45	0.4746	91.3			5.82	2.76
31年目	H 46	0.4564	91.3			5.82	2.66
32年目	H 47	0.4388	91.3			5.82	2.55
33年目	H 48	0.4220	91.3			5.82	2.46
34年目	H 49	0.4057	91.3			5.82	2.36
35年目	H 50	0.3901	91.3			5.82	2.27
36年目	H 51	0.3751	91.3			5.82	2.18
37年目	H 52	0.3607	91.3			5.82	2.10
38年目	H 53	0.3468	91.3			5.82	2.02
39年目	H 54	0.3335	91.3			5.82	1.94
40年目	H 55	0.3207	91.3			5.82	1.87
41年目	H 56	0.3083	91.3			5.82	1.79
42年目	H 57	0.2965	91.3			5.82	1.73
43年目	H 58	0.2851	91.3			5.82	1.66
44年目	H 59	0.2741	91.3			5.82	1.60
45年目	H 60	0.2636	91.3			5.82	1.53
46年目	H 61	0.2534	91.3			5.82	1.47
47年目	H 62	0.2437	91.3			5.82	1.42
48年目	H 63	0.2343	91.3			5.82	1.36
49年目	H 64	0.2253	91.3	−276.43	−62.28	5.82	1.31
合　計				516.05	903.13	191.37	92.47

単純事業費計	792.48	191.37

注1）事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
　　このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式－４

費用の現在価値算定表（残事業）

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名：一般国道8号　柏崎バイパス	単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
	0.571	11.0	6.28

年次	年度	割戻率 4.0%	GDP ﾃﾞﾌﾚｰﾀ	事業費(億円) 単純価値	事業費(億円) 現在価値	維持管理費(億円) 単純価値	維持管理費(億円) 現在価値
－7年目	H 26	1.0000	91.3	0.00	0.00		
－6年目	H 27	0.9615	91.3	14.73	14.16		
－5年目	H 28	0.9246	91.3	26.85	24.83		
－4年目	H 29	0.8890	91.3	28.70	25.51		
－3年目	H 30	0.8548	91.3	33.43	28.58		
－2年目	H 31	0.8219	91.3	26.52	21.80		
－1年目	H 32	0.7903	91.3	26.15	20.67		
供用開始年次	H 33	0.7599	91.3	25.41	19.31	3.36	2.55
1年目	H 34	0.7307	91.3	31.48	23.00	3.36	2.46
2年目	H 35	0.7026	91.3	37.59	26.41	3.36	2.36
3年目	H 36	0.6756	91.3	21.30	14.39	3.36	2.27
4年目	H 37	0.6496	91.3	16.67	10.83	3.36	2.18
5年目	H 38	0.6246	91.3			5.82	3.64
6年目	H 39	0.6006	91.3			5.82	3.50
7年目	H 40	0.5775	91.3			5.82	3.36
8年目	H 41	0.5553	91.3			5.82	3.23
9年目	H 42	0.5339	91.3			5.82	3.11
10年目	H 43	0.5134	91.3			5.82	2.99
11年目	H 44	0.4936	91.3			5.82	2.87
12年目	H 45	0.4746	91.3			5.82	2.76
13年目	H 46	0.4564	91.3			5.82	2.66
14年目	H 47	0.4388	91.3			5.82	2.55
15年目	H 48	0.4220	91.3			5.82	2.46
16年目	H 49	0.4057	91.3			5.82	2.36
17年目	H 50	0.3901	91.3			5.82	2.27
18年目	H 51	0.3751	91.3			5.82	2.18
19年目	H 52	0.3607	91.3			5.82	2.10
20年目	H 53	0.3468	91.3			5.82	2.02
21年目	H 54	0.3335	91.3			5.82	1.94
22年目	H 55	0.3207	91.3			5.82	1.87
23年目	H 56	0.3083	91.3			5.82	1.79
24年目	H 57	0.2965	91.3			5.82	1.73
25年目	H 58	0.2851	91.3			5.82	1.66
26年目	H 59	0.2741	91.3			5.82	1.60
27年目	H 60	0.2636	91.3			5.82	1.53
28年目	H 61	0.2534	91.3			5.82	1.47
29年目	H 62	0.2437	91.3			5.82	1.42
30年目	H 63	0.2343	91.3			5.82	1.36
31年目	H 64	0.2253	91.3			5.82	1.31
32年目	H 65	0.2166	91.3			5.82	1.26
33年目	H 66	0.2083	91.3			5.82	1.21
34年目	H 67	0.2003	91.3			5.82	1.17
35年目	H 68	0.1926	91.3			5.82	1.12
36年目	H 69	0.1852	91.3			5.82	1.08
37年目	H 70	0.1780	91.3			5.82	1.04
38年目	H 71	0.1712	91.3			5.82	1.00
39年目	H 72	0.1646	91.3			5.82	0.96
40年目	H 73	0.1583	91.3			5.82	0.92
41年目	H 74	0.1522	91.3			5.82	0.89
42年目	H 75	0.1463	91.3			5.82	0.85
43年目	H 76	0.1407	91.3			5.82	0.82
44年目	H 77	0.1353	91.3			5.82	0.79
45年目	H 78	0.1301	91.3			5.82	0.76
46年目	H 79	0.1251	91.3			5.82	0.73
47年目	H 80	0.1203	91.3			5.82	0.70
48年目	H 81	0.1157	91.3			5.82	0.67
49年目	H 82	0.1112	91.3	−21.75	−2.42	5.82	0.65
合　計				267.08	227.07	278.70	90.18

単純事業費計	288.83	278.70

注1）事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
　　このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式－５

便益の現在価値算定表（全体）

箇所名：一般国道8号　柏崎バイパス

年次	年度（基準年）	総走行台キロの年次別伸び率（北陸ブロック）				割戻率	GDP デフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合　計（億円）	
	H26	乗用車類	小型貨物	普通貨物	全　車	(A)		乗用車類	小型貨物	普通貨物	①　計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②　計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H　15	0.99494	0.98523	0.98045	0.99129	1.5395	102.3	5.34	1.41	2.91	9.66	13.27	0.72	0.17	0.41	1.30	1.78	0.31	0.43	11.27	15.48
1年目	H　16	0.99491	0.98494	0.97990	0.99120	1.4802	101.0	5.31	1.39	2.85	9.55	12.78	0.72	0.16	0.40	1.28	1.72	0.31	0.41	11.14	14.91
2年目	H　17	0.99488	0.98465	0.97935	0.99111	1.4233	99.6	5.28	1.37	2.79	9.45	12.32	0.72	0.16	0.39	1.27	1.66	0.30	0.40	11.02	14.38
3年目	H　18	0.99485	0.98436	0.97880	0.99102	1.3686	98.7	5.25	1.35	2.73	9.34	11.82	0.71	0.16	0.38	1.25	1.59	0.30	0.38	10.89	13.79
4年目	H　19	0.99483	0.98411	0.97835	0.99094	1.3159	97.6	5.23	1.33	2.68	9.23	11.36	0.71	0.16	0.37	1.24	1.53	0.30	0.37	10.77	13.26
5年目	H　20	0.99480	0.98385	0.97787	0.99086	1.2653	96.8	5.20	1.31	2.62	9.12	10.89	0.70	0.15	0.37	1.23	1.46	0.30	0.35	10.64	12.70
6年目	H　21	0.99477	0.98359	0.97737	0.99077	1.2167	95.6	5.17	1.29	2.56	9.01	10.48	0.70	0.15	0.36	1.21	1.41	0.29	0.34	10.52	12.22
7年目	H　22	0.99475	0.98331	0.97684	0.99069	1.1699	93.7	5.15	1.26	2.50	8.91	10.15	0.70	0.15	0.35	1.20	1.36	0.29	0.33	10.39	11.85
8年目	H　23	0.99472	0.98303	0.97629	0.99060	1.1249	92.1	5.12	1.24	2.44	8.80	9.81	0.69	0.15	0.34	1.18	1.32	0.29	0.32	10.27	11.45
9年目	H　24	0.99469	0.98273	0.97572	0.99051	1.0816	91.3	5.09	1.22	2.38	8.69	9.40	0.69	0.14	0.33	1.17	1.26	0.29	0.31	10.14	10.97
10年目	H　25	0.99466	0.98243	0.97511	0.99042	1.0400	91.3	5.06	1.20	2.32	8.58	8.93	0.69	0.14	0.32	1.15	1.20	0.28	0.29	10.02	10.42
11年目	H　26	0.99463	0.98212	0.97448	0.99033	1.0000	91.3	5.04	1.18	2.26	8.48	8.48	0.68	0.14	0.32	1.14	1.14	0.28	0.28	9.89	9.89
12年目	H　27	0.99460	0.98179	0.97381	0.99023	0.9615	91.3	5.01	1.16	2.20	8.37	8.05	0.68	0.14	0.31	1.12	1.08	0.28	0.27	9.77	9.39
13年目	H　28	0.99457	0.98145	0.97310	0.99014	0.9246	91.3	4.98	1.14	2.14	8.26	7.64	0.68	0.13	0.30	1.11	1.03	0.27	0.25	9.64	8.92
14年目	H　29	0.99454	0.98110	0.97236	0.99004	0.8890	91.3	4.96	1.11	2.08	8.15	7.25	0.67	0.13	0.29	1.09	0.97	0.27	0.24	9.52	8.46
15年目	H　30	0.99451	0.98074	0.97157	0.98994	0.8548	91.3	4.93	1.09	2.02	8.04	6.88	0.67	0.13	0.28	1.08	0.92	0.27	0.23	9.39	8.03
16年目	H　31	0.99448	0.98036	0.97074	0.98984	0.8219	91.3	4.90	1.07	1.96	7.94	6.52	0.66	0.13	0.27	1.07	0.88	0.27	0.22	9.27	7.62
17年目	H　32	0.99445	0.97997	0.96986	0.98973	0.7903	91.3	4.87	1.05	1.91	7.83	6.19	0.66	0.12	0.27	1.05	0.83	0.26	0.21	9.14	7.23
18年目	H　33	0.99588	0.98583	0.98106	0.99285	0.7599	91.3	20.84	5.42	9.03	35.28	26.81	4.67	1.14	1.54	7.35	5.59	1.87	1.42	44.50	33.82
19年目	H　34	0.99586	0.98563	0.98070	0.99280	0.7307	91.3	20.75	5.34	8.86	34.95	25.53	4.65	1.13	1.51	7.28	5.32	1.85	1.35	44.08	32.21
20年目	H　35	0.99585	0.98542	0.98032	0.99275	0.7026	91.3	20.66	5.26	8.68	34.61	24.31	4.63	1.11	1.48	7.22	5.07	1.84	1.29	43.67	30.68
21年目	H　36	0.99583	0.98520	0.97992	0.99270	0.6756	91.3	20.58	5.18	8.51	34.27	23.15	4.61	1.09	1.45	7.15	4.83	1.83	1.23	43.25	29.22
22年目	H　37	0.99581	0.98498	0.97951	0.99264	0.6496	91.3	20.49	5.10	8.33	33.93	22.04	4.60	1.08	1.42	7.09	4.60	1.81	1.18	42.83	27.82
23年目	H　38	0.99579	0.98475	0.97908	0.99259	0.6246	91.3	35.15	7.84	22.67	65.67	41.02	5.40	1.24	2.37	9.01	5.63	2.64	1.65	77.32	48.29
24年目	H　39	0.99578	0.98452	0.97864	0.99253	0.6006	91.3	35.01	7.72	22.19	64.92	38.99	5.38	1.23	2.32	8.92	5.36	2.62	1.57	76.45	45.92
25年目	H　40	0.99576	0.98427	0.97817	0.99248	0.5775	91.3	34.86	7.60	21.70	64.16	37.05	5.36	1.21	2.26	8.83	5.10	2.60	1.50	75.59	43.65
26年目	H　41	0.99574	0.98402	0.97768	0.99242	0.5553	91.3	34.71	7.48	21.22	63.41	35.21	5.33	1.19	2.21	8.73	4.85	2.58	1.43	74.72	41.49
27年目	H　42	0.99572	0.98376	0.97717	0.99236	0.5339	91.3	34.56	7.36	20.74	62.65	33.45	5.31	1.17	2.16	8.64	4.61	2.56	1.37	73.85	39.43
28年目	H　43	0.99077	0.99335	1.00200	0.99205	0.5134	91.3	34.24	7.31	20.78	62.33	32.00	5.26	1.16	2.17	8.59	4.41	2.54	1.30	73.45	37.71
29年目	H　44	0.99069	0.99330	1.00200	0.99199	0.4936	91.3	33.92	7.26	20.82	62.00	30.60	5.21	1.15	2.17	8.54	4.21	2.52	1.24	73.05	36.06
30年目	H　45	0.99060	0.99326	1.00200	0.99193	0.4746	91.3	33.60	7.21	20.86	61.68	29.27	5.16	1.14	2.18	8.48	4.03	2.50	1.18	72.66	34.48
31年目	H　46	0.99051	0.99321	1.00199	0.99186	0.4564	91.3	33.28	7.16	20.90	61.35	28.00	5.11	1.14	2.18	8.43	3.85	2.48	1.13	72.26	32.98
32年目	H　47	0.99042	0.99316	1.00199	0.99179	0.4388	91.3	32.97	7.11	20.94	61.02	26.78	5.06	1.13	2.19	8.38	3.68	2.46	1.08	71.86	31.53
33年目	H　48	0.99033	0.99312	1.00198	0.99173	0.4220	91.3	32.65	7.06	20.99	60.70	25.61	5.02	1.12	2.19	8.33	3.51	2.44	1.03	71.46	30.16
34年目	H　49	0.99023	0.99307	1.00198	0.99166	0.4057	91.3	32.33	7.02	21.03	60.37	24.49	4.97	1.11	2.19	8.27	3.36	2.42	0.98	71.06	28.83
35年目	H　50	0.99014	0.99302	1.00198	0.99159	0.3901	91.3	32.01	6.97	21.07	60.04	23.42	4.92	1.11	2.20	8.22	3.21	2.40	0.93	70.66	27.56
36年目	H　51	0.99004	0.99297	1.00197	0.99152	0.3751	91.3	31.69	6.92	21.11	59.72	22.40	4.87	1.10	2.20	8.17	3.06	2.37	0.89	70.26	26.36
37年目	H　52	0.98994	0.99292	1.00197	0.99144	0.3607	91.3	31.37	6.87	21.15	59.39	21.42	4.82	1.09	2.21	8.12	2.93	2.35	0.85	69.86	25.20
38年目	H　53	0.98984	0.99287	1.00196	0.99137	0.3468	91.3	31.05	6.82	21.19	59.07	20.48	4.77	1.08	2.21	8.06	2.80	2.33	0.81	69.46	24.09
39年目	H　54	0.98973	0.99282	1.00196	0.99129	0.3335	91.3	30.73	6.77	21.23	58.74	19.59	4.72	1.07	2.22	8.01	2.67	2.31	0.77	69.06	23.03
40年目	H　55	0.98963	0.99277	1.00196	0.99122	0.3207	91.3	30.42	6.72	21.28	58.41	18.73	4.67	1.07	2.22	7.96	2.55	2.29	0.74	68.67	22.02
41年目	H　56	0.98952	0.99272	1.00195	0.99114	0.3083	91.3	30.10	6.67	21.32	58.09	17.91	4.62	1.06	2.22	7.91	2.44	2.27	0.70	68.27	21.05
42年目	H　57	0.98941	0.99266	1.00195	0.99106	0.2965	91.3	29.78	6.62	21.36	57.76	17.13	4.58	1.05	2.23	7.85	2.33	2.25	0.67	67.87	20.12
43年目	H　58	0.98929	0.99261	1.00194	0.99098	0.2851	91.3	29.46	6.57	21.40	57.43	16.37	4.53	1.04	2.23	7.80	2.22	2.23	0.64	67.47	19.24
44年目	H　59	0.98918	0.99255	1.00194	0.99090	0.2741	91.3	29.14	6.53	21.44	57.11	15.65	4.48	1.04	2.24	7.75	2.12	2.21	0.61	67.07	18.38
45年目	H　60	0.98906	0.99250	1.00194	0.99081	0.2636	91.3	28.82	6.48	21.48	56.78	14.97	4.43	1.03	2.24	7.70	2.03	2.19	0.58	66.67	17.57
46年目	H　61	0.98894	0.99244	1.00193	0.99073	0.2534	91.3	28.50	6.43	21.53	56.46	14.31	4.38	1.02	2.25	7.65	1.94	2.17	0.55	66.27	16.79
47年目	H　62	0.98881	0.99238	1.00193	0.99064	0.2437	91.3	28.18	6.38	21.57	56.13	13.68	4.33	1.01	2.25	7.59	1.85	2.15	0.52	65.87	16.05
48年目	H　63	0.98870	0.99233	1.00193	0.99056	0.2343	91.3	27.86	6.33	21.61	55.80	13.07	4.28	1.00	2.25	7.54	1.77	2.13	0.50	65.47	15.34
49年目	H　64	0.98859	0.99228	1.00193	0.99048	0.2253	91.3	27.55	6.28	21.65	55.48	12.50	4.23	1.00	2.26	7.49	1.69	2.11	0.48	65.08	14.66
合　計								1,049.14	235.97	662.00	1,947.11	938.19	166.83	37.93	73.46	278.22	136.75	78.48	37.81	2,303.80	1,112.74

様式－５

便益の現在価値算定表（残事業）

箇所名：一般国道8号　柏崎バイパス

年次	年度（基準年）	総走行台キロの年次別伸び率（北陸ブロック）				割戻率	GDPデフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計(億円)	
	H26	乗用車類	小型貨物	貨物車類	全車	(A)		乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値(A)×②	③	現在価値③×(A)	便益合計(①～③)	現在価値割引率4%
供用開始年次	H 33	0.99588	0.98583	0.98106	0.99285	0.7599	91.3	16.31	4.52	6.43	27.25	20.71	3.92	1.01	1.14	6.07	4.61	1.64	1.24	34.96	26.56
1年目	H 34	0.99586	0.98563	0.98070	0.99280	0.7307	91.3	16.24	4.45	6.30	27.00	19.73	3.90	1.00	1.11	6.02	4.40	1.62	1.19	34.64	25.31
2年目	H 35	0.99585	0.98542	0.98032	0.99275	0.7026	91.3	16.17	4.39	6.18	26.74	18.79	3.89	0.98	1.09	5.96	4.19	1.61	1.13	34.31	24.11
3年目	H 36	0.99583	0.98520	0.97992	0.99270	0.6756	91.3	16.11	4.32	6.05	26.48	17.89	3.87	0.97	1.07	5.91	3.99	1.60	1.08	33.99	22.97
4年目	H 37	0.99581	0.98498	0.97951	0.99264	0.6496	91.3	16.04	4.26	5.93	26.23	17.04	3.86	0.95	1.05	5.86	3.81	1.59	1.03	33.67	21.87
5年目	H 38	0.99579	0.98475	0.97908	0.99259	0.6246	91.3	30.72	7.01	20.32	58.05	36.26	4.66	1.12	2.00	7.79	4.87	2.41	1.51	68.26	42.63
6年目	H 39	0.99578	0.98452	0.97864	0.99253	0.6006	91.3	30.59	6.90	19.88	57.38	34.46	4.65	1.11	1.96	7.71	4.63	2.40	1.44	67.49	40.53
7年目	H 40	0.99576	0.98427	0.97817	0.99248	0.5775	91.3	30.46	6.79	19.45	56.70	32.75	4.63	1.09	1.92	7.63	4.41	2.38	1.37	66.72	38.53
8年目	H 41	0.99574	0.98402	0.97768	0.99242	0.5553	91.3	30.33	6.69	19.02	56.03	31.11	4.61	1.07	1.88	7.55	4.19	2.36	1.31	65.95	36.62
9年目	H 42	0.99572	0.98376	0.97717	0.99236	0.5339	91.3	30.20	6.58	18.58	55.36	29.56	4.59	1.06	1.83	7.47	3.99	2.34	1.25	65.17	34.80
10年目	H 43	0.99077	0.99335	1.00200	0.99205	0.5134	91.3	29.92	6.53	18.62	55.07	28.28	4.54	1.05	1.84	7.43	3.81	2.32	1.19	64.83	33.28
11年目	H 44	0.99069	0.99330	1.00200	0.99199	0.4936	91.3	29.64	6.49	18.66	54.79	27.04	4.50	1.04	1.84	7.38	3.64	2.30	1.14	64.48	31.83
12年目	H 45	0.99060	0.99326	1.00200	0.99193	0.4746	91.3	29.36	6.45	18.69	54.50	25.87	4.46	1.03	1.84	7.34	3.48	2.29	1.08	64.13	30.43
13年目	H 46	0.99051	0.99321	1.00199	0.99186	0.4564	91.3	29.09	6.40	18.73	54.22	24.75	4.42	1.03	1.85	7.29	3.33	2.27	1.03	63.78	29.11
14年目	H 47	0.99042	0.99316	1.00199	0.99179	0.4388	91.3	28.81	6.36	18.77	53.93	23.67	4.37	1.02	1.85	7.25	3.18	2.25	0.99	63.43	27.83
15年目	H 48	0.99033	0.99312	1.00198	0.99173	0.4220	91.3	28.53	6.31	18.81	53.65	22.64	4.33	1.01	1.86	7.20	3.04	2.23	0.94	63.08	26.62
16年目	H 49	0.99023	0.99307	1.00198	0.99166	0.4057	91.3	28.25	6.27	18.84	53.36	21.65	4.29	1.01	1.86	7.15	2.90	2.21	0.90	62.73	25.45
17年目	H 50	0.99014	0.99302	1.00198	0.99159	0.3901	91.3	27.97	6.23	18.88	53.08	20.71	4.25	1.00	1.86	7.11	2.77	2.19	0.86	62.38	24.33
18年目	H 51	0.99004	0.99297	1.00197	0.99152	0.3751	91.3	27.69	6.18	18.92	52.79	19.80	4.21	0.99	1.87	7.06	2.65	2.17	0.82	62.03	23.27
19年目	H 52	0.98994	0.99292	1.00197	0.99144	0.3607	91.3	27.41	6.14	18.95	52.51	18.94	4.16	0.98	1.87	7.02	2.53	2.15	0.78	61.68	22.25
20年目	H 53	0.98984	0.99287	1.00196	0.99137	0.3468	91.3	27.14	6.10	18.99	52.22	18.11	4.12	0.98	1.87	6.97	2.42	2.14	0.74	61.33	21.27
21年目	H 54	0.98973	0.99282	1.00196	0.99129	0.3335	91.3	26.86	6.05	19.03	51.94	17.32	4.08	0.97	1.88	6.93	2.31	2.12	0.71	60.98	20.34
22年目	H 55	0.98963	0.99277	1.00196	0.99122	0.3207	91.3	26.58	6.01	19.07	51.65	16.57	4.04	0.96	1.88	6.88	2.21	2.10	0.67	60.63	19.44
23年目	H 56	0.98952	0.99272	1.00195	0.99114	0.3083	91.3	26.30	5.96	19.10	51.37	15.84	3.99	0.96	1.88	6.84	2.11	2.08	0.64	60.28	18.59
24年目	H 57	0.98941	0.99266	1.00195	0.99106	0.2965	91.3	26.02	5.92	19.14	51.08	15.15	3.95	0.95	1.89	6.79	2.01	2.06	0.61	59.93	17.77
25年目	H 58	0.98929	0.99261	1.00194	0.99098	0.2851	91.3	25.74	5.88	19.18	50.80	14.48	3.91	0.94	1.89	6.74	1.92	2.04	0.58	59.58	16.99
26年目	H 59	0.98918	0.99255	1.00194	0.99090	0.2741	91.3	25.46	5.83	19.22	50.51	13.85	3.87	0.94	1.90	6.70	1.84	2.02	0.55	59.24	16.24
27年目	H 60	0.98906	0.99250	1.00194	0.99081	0.2636	91.3	25.19	5.79	19.25	50.23	13.24	3.82	0.93	1.90	6.65	1.75	2.01	0.53	58.89	15.52
28年目	H 61	0.98894	0.99244	1.00193	0.99073	0.2534	91.3	24.91	5.75	19.29	49.94	12.66	3.78	0.92	1.90	6.61	1.67	1.99	0.50	58.54	14.83
29年目	H 62	0.98881	0.99238	1.00193	0.99064	0.2437	91.3	24.63	5.70	19.33	49.66	12.10	3.74	0.91	1.91	6.56	1.60	1.97	0.48	58.19	14.18
30年目	H 63	0.98870	0.99233	1.00193	0.99056	0.2343	91.3	24.35	5.66	19.36	49.37	11.57	3.70	0.91	1.91	6.52	1.53	1.95	0.46	57.84	13.55
31年目	H 64	0.98859	0.99228	1.00193	0.99048	0.2253	91.3	24.07	5.61	19.40	49.09	11.06	3.66	0.90	1.91	6.47	1.46	1.93	0.44	57.49	12.95
32年目	H 65	0.98848	0.99223	1.00193	0.99040	0.2166	91.3	23.79	5.57	19.44	48.80	10.57	3.61	0.89	1.92	6.42	1.39	1.91	0.41	57.14	12.38
33年目	H 66	0.98837	0.99218	1.00193	0.99032	0.2083	91.3	23.52	5.53	19.48	48.52	10.11	3.57	0.89	1.92	6.38	1.33	1.89	0.39	56.80	11.83
34年目	H 67	0.98826	0.99213	1.00193	0.99024	0.2003	91.3	23.24	5.48	19.51	48.24	9.66	3.53	0.88	1.92	6.33	1.27	1.88	0.38	56.45	11.31
35年目	H 68	0.98815	0.99208	1.00193	0.99016	0.1926	91.3	22.97	5.44	19.55	47.96	9.24	3.49	0.87	1.93	6.29	1.21	1.86	0.36	56.11	10.81
36年目	H 69	0.98804	0.99203	1.00193	0.99008	0.1852	91.3	22.69	5.40	19.59	47.68	8.83	3.45	0.87	1.93	6.24	1.16	1.84	0.34	55.76	10.33
37年目	H 70	0.98793	0.99198	1.00193	0.99000	0.1780	91.3	22.42	5.35	19.63	47.40	8.44	3.40	0.86	1.94	6.20	1.10	1.82	0.32	55.42	9.86
38年目	H 71	0.98782	0.99193	1.00193	0.98992	0.1712	91.3	22.15	5.31	19.67	47.12	8.07	3.36	0.85	1.94	6.15	1.05	1.80	0.31	55.08	9.43
39年目	H 72	0.98771	0.99188	1.00193	0.98984	0.1646	91.3	21.87	5.27	19.70	46.84	7.71	3.32	0.85	1.94	6.11	1.01	1.78	0.29	54.74	9.01
40年目	H 73	0.98760	0.99183	1.00193	0.98976	0.1583	91.3	21.60	5.22	19.74	46.57	7.37	3.28	0.84	1.95	6.07	0.96	1.77	0.28	54.40	8.61
41年目	H 74	0.98749	0.99178	1.00193	0.98968	0.1522	91.3	21.33	5.18	19.78	46.29	7.05	3.24	0.83	1.95	6.02	0.92	1.75	0.27	54.06	8.23
42年目	H 75	0.98738	0.99173	1.00193	0.98960	0.1463	91.3	21.06	5.14	19.82	46.02	6.73	3.20	0.82	1.95	5.98	0.87	1.73	0.25	53.73	7.86
43年目	H 76	0.98727	0.99168	1.00193	0.98952	0.1407	91.3	20.79	5.10	19.86	45.75	6.44	3.16	0.82	1.96	5.93	0.83	1.71	0.24	53.39	7.51
44年目	H 77	0.98716	0.99163	1.00193	0.98944	0.1353	91.3	20.53	5.05	19.89	45.47	6.15	3.12	0.81	1.96	5.89	0.80	1.69	0.23	53.06	7.18
45年目	H 78	0.98705	0.99158	1.00193	0.98936	0.1301	91.3	20.26	5.01	19.93	45.20	5.88	3.08	0.80	1.97	5.85	0.76	1.68	0.22	52.73	6.86
46年目	H 79	0.98694	0.99153	1.00193	0.98928	0.1251	91.3	20.00	4.97	19.97	44.94	5.62	3.04	0.80	1.97	5.80	0.73	1.66	0.21	52.40	6.55
47年目	H 80	0.98683	0.99148	1.00193	0.98920	0.1203	91.3	19.73	4.93	20.01	44.67	5.37	3.00	0.79	1.97	5.76	0.69	1.64	0.20	52.07	6.26
48年目	H 81	0.98672	0.99143	1.00193	0.98912	0.1157	91.3	19.47	4.88	20.05	44.40	5.14	2.96	0.78	1.98	5.72	0.66	1.62	0.19	51.74	5.99
49年目	H 82	0.98661	0.99138	1.00193	0.98904	0.1112	91.3	19.21	4.84	20.09	44.14	4.91	2.92	0.78	1.98	5.68	0.63	1.60	0.18	51.42	5.72
合計								1,213.73	283.20	902.07	2,399.00	796.84	191.47	46.83	91.39	329.70	114.64	98.37	34.25	2,827.07	945.73

参考様式－1

路線名	箇所名	車線数	延長
柏崎バイパス	柏崎市大字長崎～柏崎大字鯨波	4	11.0km

■事業費内訳【全体事業費】

	費目	工種	単位	数量	金額（百万円）	備考
①工事費					43,198	
	改良費				13,800	
		土工	m3	1,484,169	3,092	掘削（386,952m3）、盛土（1,069,867m3）、残土処理（27,350m3）
		軟弱地盤改良工	式	1	4,623	
		法面工	式	1	254	切土法面、盛土法面、種子吹付等
		擁壁工	式	1	417	
		函渠工	m	6,868	3,912	横断BOX、上屋等
		排水工	m	52,532	697	
		集水桝工	基	518	89	
		管渠工	m	3,619	43	
		縁石工	m	25,373	262	
		防護柵工	式	13,037	213	
		雑工	式	1	198	
	橋梁費				8,975	
		高架橋	m	1,143	5,350	2本（上下線）
		橋梁	m	362	3,625	2本（上下線）
	トンネル費				10,877	
		山岳トンネル	m	2,256	9,447	2本（上下線） L=1,128m×2
		開削トンネル	m	440	1,430	2本（上下線） L=220m×2
	舗装費				3,110	
		車道舗装	㎡	296,573	2,970	
		歩道舗装	㎡	41,752	134	
		区画線工	m	17,540	6	
	付帯施設費				675	
		交通管理施設工	式	1	535	照明、標識
		情報BOX工	式	1	140	
	その他費用				5,761	
		埋蔵文化財調査	式	1	5,761	
②用地及補償費					27,643	
	用地費		㎡	420,700	16,326	
		宅地	㎡	155,000	8,680	
		田畑	㎡	254,000	6,858	
		山林・原野	㎡	11,700	788	
		その他	㎡			
	補償費		式	-	11,317	
③間接経費			式	1	11,759	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					82,600	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

参考様式－1

路線名	箇所名	車線数	延長
柏崎バイパス	柏崎市大字長崎～柏崎大字鯨波	4	11.0km

■事業費内訳【残事業費】

区分	費目	工種	単位	数量	金額（百万円）	備考
①工事費					24,427	
	改良費				5,838	
		土工	m3	535,822	1,272	掘削（103,100m3）、盛土（583,100m3）
		軟弱地盤改良工	式	1	2,257	
		法面工	式	1	70	切土法面、盛土法面、種子吹付
		擁壁工	式	1	75	
		函渠工	m	4,531	1,341	横断BOX等
		排水工	m	30,016	345	
		集水桝工	基	267	29	
		管渠工	m	227	7	
		縁石工	m	22,588	247	
		防護柵工	式	1	195	
	橋梁費				2,445	
		高架橋	m	415	1,500	2本（上下線）
		橋梁	m	362	945	2本（上下線）
	トンネル費				10,677	
		山岳トンネル	m	2,256	9,447	2本（上下線） L=1,128m×2
		開削トンネル	m	380	1,230	2本（上下線） L=220m×2
	舗装費				2,043	
		車道舗装	㎡	188,316	1,969	本線、ランプ、側道、市道等
		歩道舗装	㎡	23,433	74	
	付帯施設費				311	
		交通管理施設工	式	1	257	照明、標識
		情報BOX工	式	1	54	
	その他費用				3,113	
		埋蔵文化財調査	式	1	3,113	
②用地及補償費					2,175	
	用地費		㎡	23,913	851	
		宅地	㎡	6,965	444	
		田畑	㎡	16,948	407	
		山林・原野	㎡	－	－	
		その他	㎡	－	－	
	補償費		式	－	1,324	
③間接経費			式	1	4,418	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					31,020	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

参考様式－2

路線名	箇所名	車線数	延長
国道8号	柏崎バイパス	4	11.0km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 （百万円/年）	備考
維持費	km	11.0	215	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	413	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			628	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。